

協会けんぽの都道府県支部別医療費・健診結果の状況（令和2年度）

目次

協会けんぽの都道府県支部別医療費・健診結果の状況(令和2年度)

医療費の地域差

・ 都道府県支部別加入者1人当たり医療費の状況(全国平均との差)(年齢調整前)	...	4
・ 都道府県支部別加入者1人当たり医療費の状況(全国平均との差)(年齢調整後)	...	5
・ 地域差指数の比較(協会けんぽと市町村国保)	...	6
・ (参考)加入者1人当たり入院医療費の3要素分解	...	7
・ (参考)加入者1人当たり入院医療費と入院受診率	...	9
・ (参考)加入者1人当たり入院外医療費の3要素分解	...	10
・ (参考)加入者1人当たり歯科医療費の3要素分解	...	12

医療費の年齢階級毎の内訳

・ 都道府県支部別加入者1人当たり医療費の年齢階級毎の動向	...	15
・ 入院医療費の年齢階級毎の内訳	...	16
・ 都道府県支部別加入者1人当たり入院医療費の内訳	...	17
・ 入院外医療費の年齢階級毎の内訳	...	18
・ 都道府県支部別加入者1人当たり入院外医療費の内訳	...	19

医療費の疾病毎の内訳

・ 都道府県支部別加入者1人当たり医療費の疾病毎の動向	...	21
・ 入院医療費の疾病毎の内訳	...	22
・ 都道府県支部別加入者1人当たり入院医療費の主な内訳	...	23
・ 入院外医療費の疾病毎の内訳	...	24
・ 都道府県支部別加入者1人当たり入院外医療費の主な内訳	...	25
・ 加入者1人当たり入院外医療費(高血圧症)の3要素分解	...	26
・ 加入者1人当たり入院外医療費(脂質異常症)の3要素分解	...	28
・ 加入者1人当たり入院外医療費(糖尿病)の3要素分解	...	30

都道府県支部別健診結果の状況

・ 血圧リスク保有率	・・・ 33
・ 脂質リスク保有率	・・・ 34
・ 代謝リスク保有率	・・・ 35
・ (参考)メタボリックリスク保有率	・・・ 36
・ (参考)メタボリック予備群	・・・ 37
・ (参考)腹囲リスク保有率	・・・ 38
・ (参考)喫煙者の割合	・・・ 39
・ (参考)BMIリスク保有率	・・・ 40
・ (参考)中性脂肪リスク保有率	・・・ 41
・ (参考)HDLコレステロールリスク保有率	・・・ 42

医療費の地域差

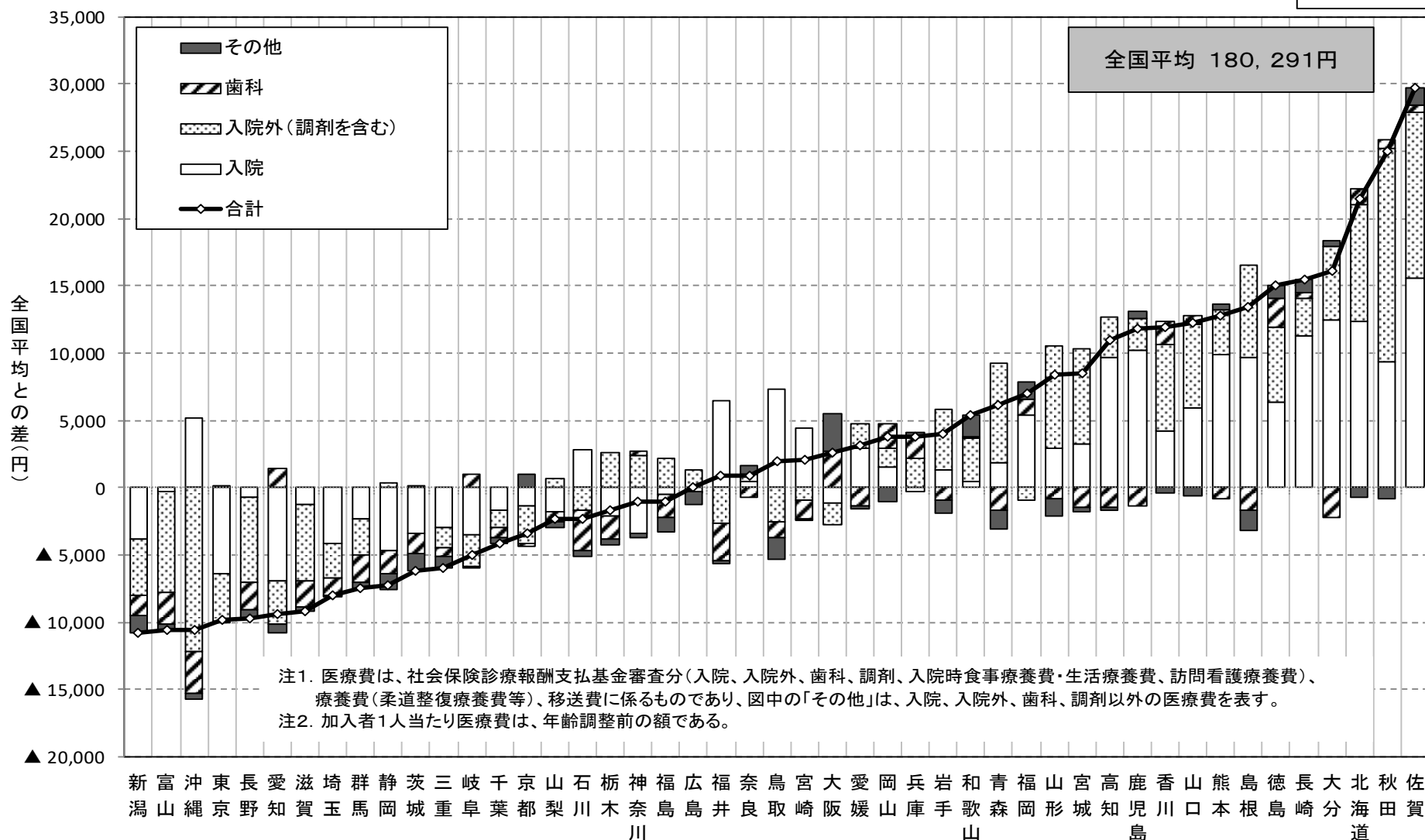
- 加入者1人当たり医療費は都道府県支部毎に差が生じているが、これは都道府県支部毎の加入者の年齢構成に違いがあることが1つの要因としてある。
- 都道府県支部の年齢構成の違いによる影響を除去して指数化すると、若年層が多い支部（例えば沖縄県）では加入者1人当たり医療費が相対的に高くなり、高齢層が多い支部（例えば秋田県）では加入者1人当たり医療費が相対的に低くなる。
- 協会けんぽと市町村国保の地域差指数（年齢調整あり）を比較したが、正の相関がみられることから、医療費の地域差には、協会けんぽか市町村国保かという制度の違いによらない地域の特性が表れていることが分かる。
- 診療種別によらず1人当たり医療費が高い都道府県支部では、受診率が相対的に高く、1人当たり医療費が低い都道府県支部では、受診率が相対的に低くなっている。

都道府県支部別加入者1人当たり医療費の状況(全国平均との差)(年齢調整前)

加入者1人当たり医療費は都道府県支部毎に差が生じているが、これは都道府県支部毎の加入者の年齢構成に違いがあることが1つの要因としてあげられる。

都道府県支部別加入者1人当たり医療費の状況(全国平均との差)(令和2年度)

年齢調整:なし
所得調整:なし

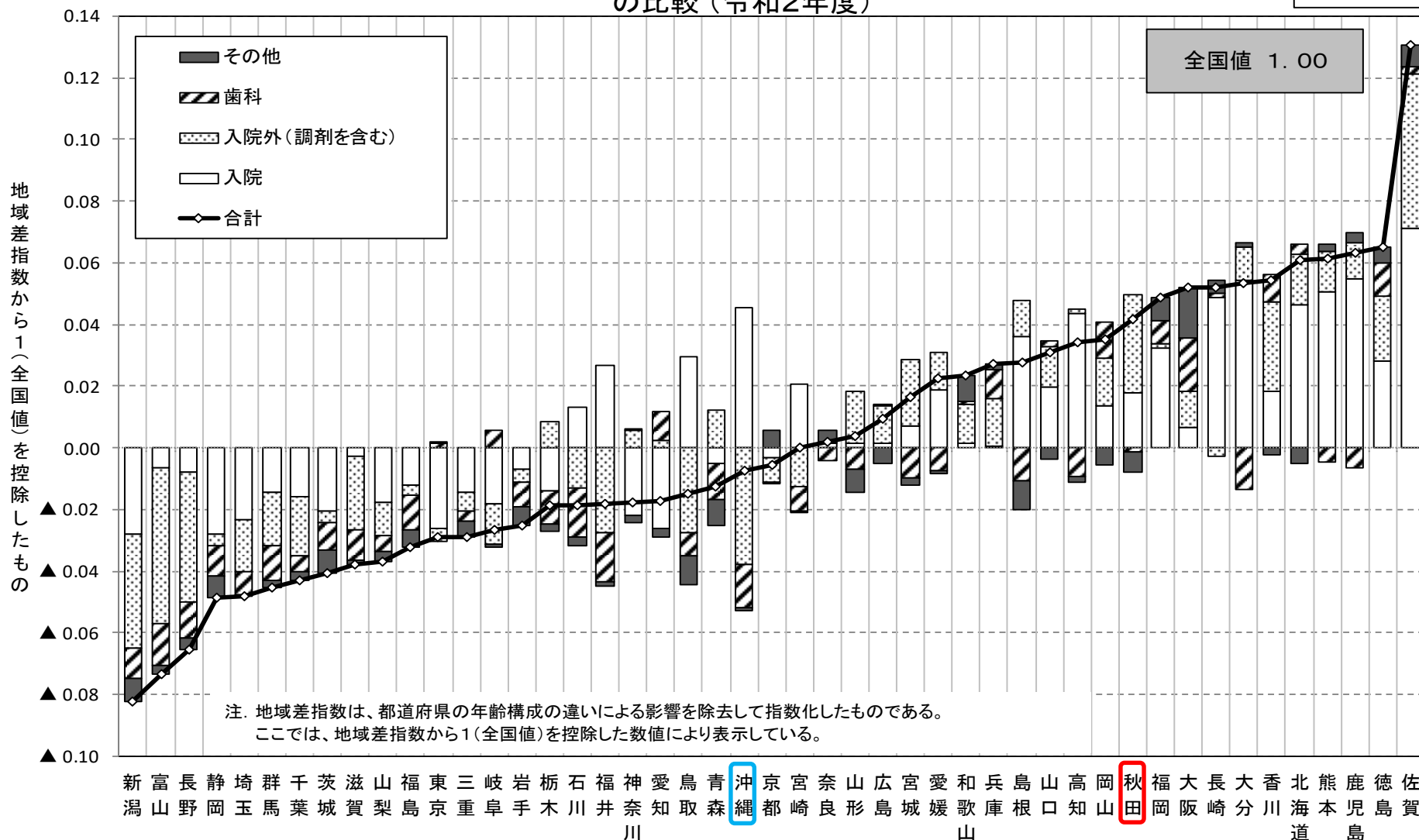


都道府県支部別加入者1人当たり医療費の状況(全国平均との差)(年齢調整後)

年齢構成の違いによる影響を除去すると、若年層が多い支部(例えば沖縄県)では加入者1人当たり医療費が相対的に高くなり、高齢層が多い支部(例えば秋田県)では加入者1人当たり医療費が相対的に低くなる。

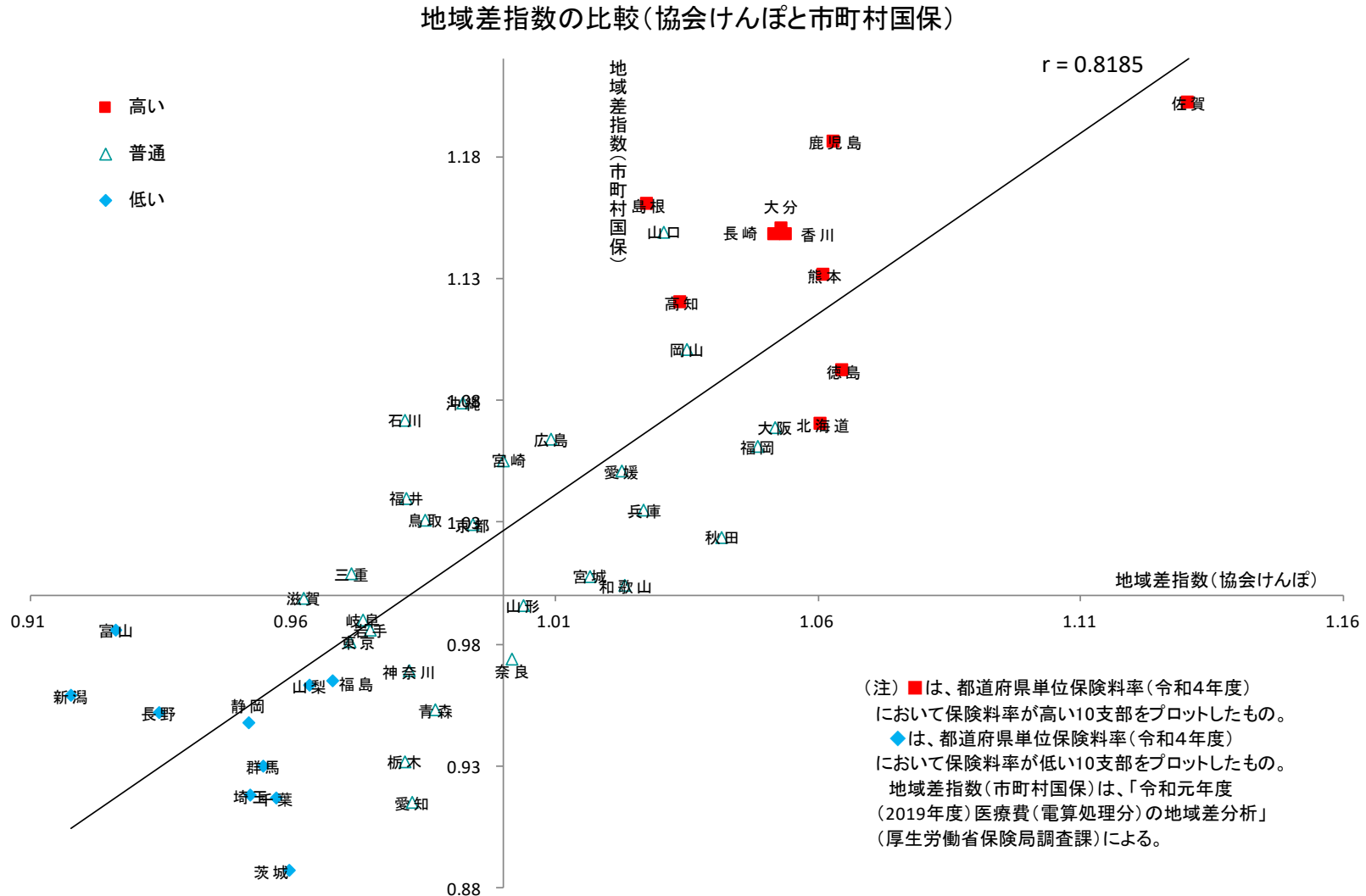
都道府県支部別地域差指数(入院、入院外(調剤を含む)、歯科、その他)
の比較(令和2年度)

年齢調整:あり
所得調整:なし



地域差指数の比較(協会けんぽと市町村国保)

協会けんぽと市町村国保の地域差指数(年齢調整あり)には正の相関がある。

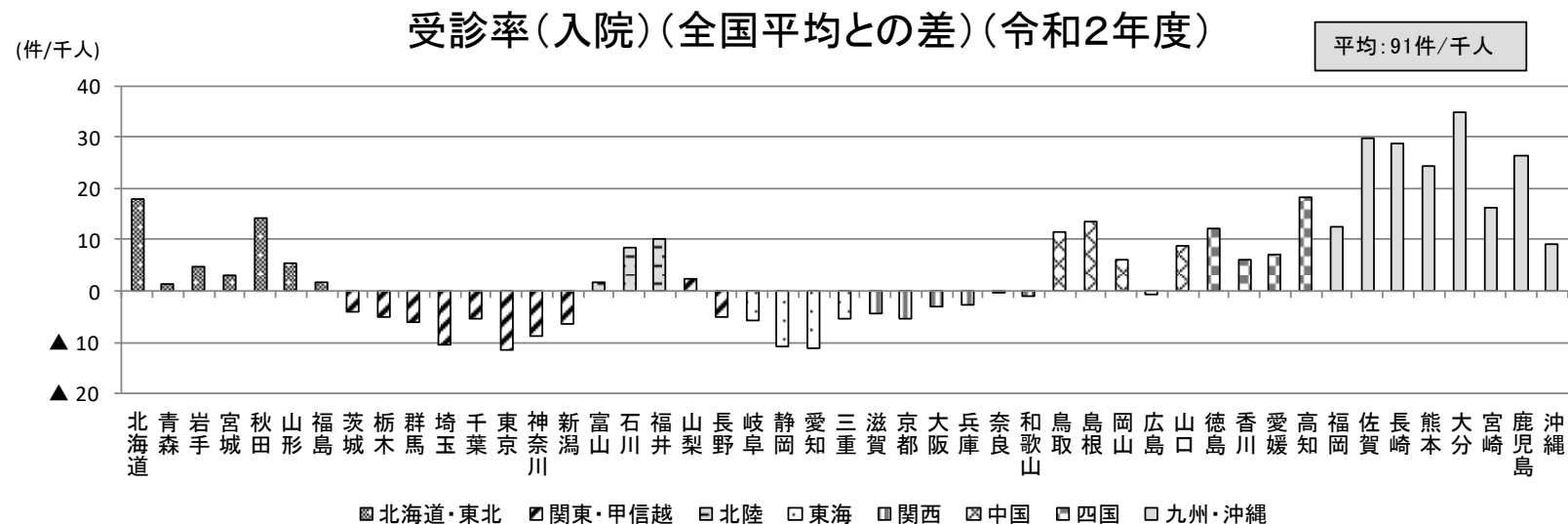
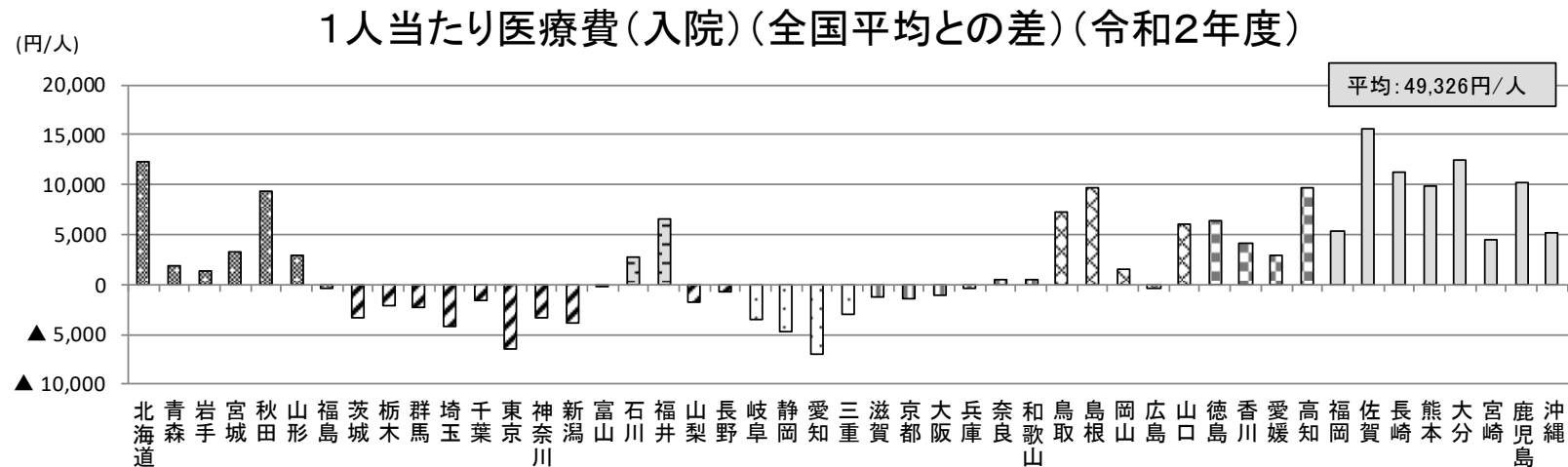


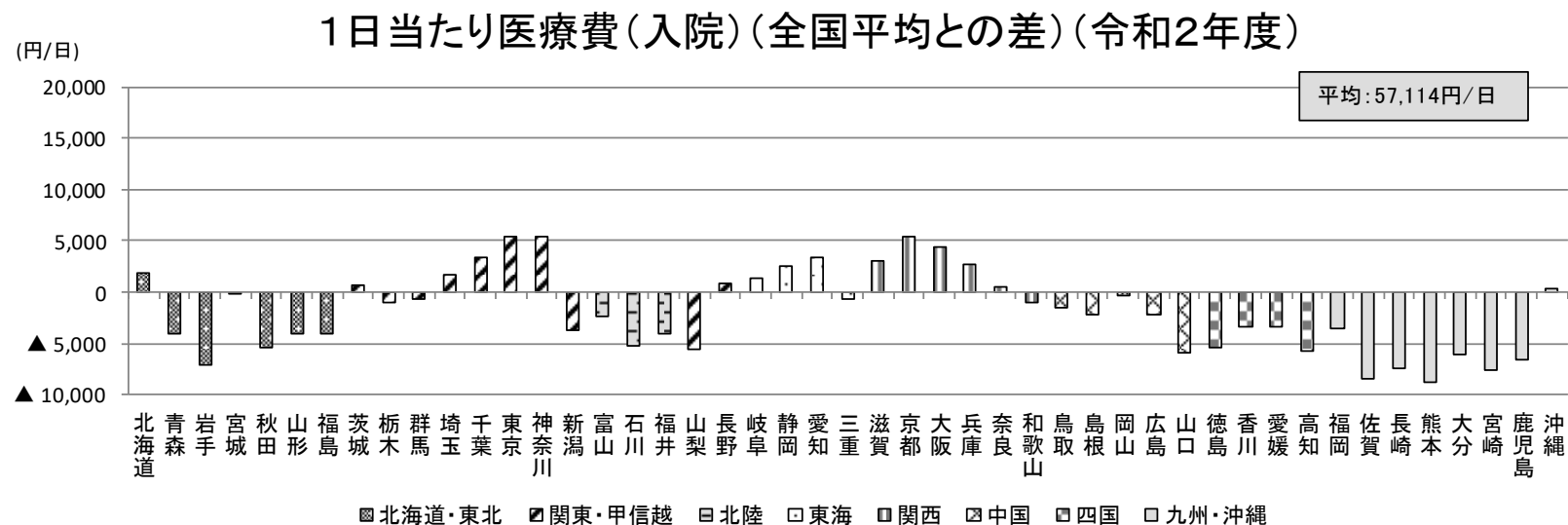
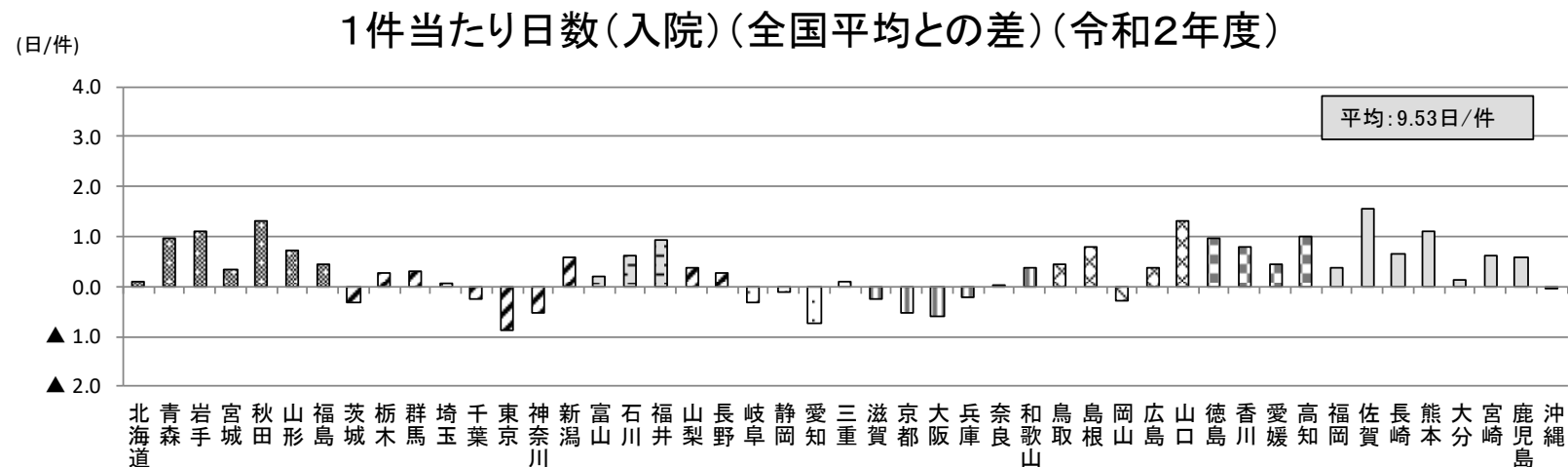
※ 地域差指数とは、医療費の地域差を表す指標として、1人当たり医療費について、人口の年齢構成の相違分を補正し、全国平均を1として指数化したもの。

※ 地域差指数(市町村国保)については、令和元年度の指数であることに留意が必要。

(参考)加入者1人当たり入院医療費の3要素分解

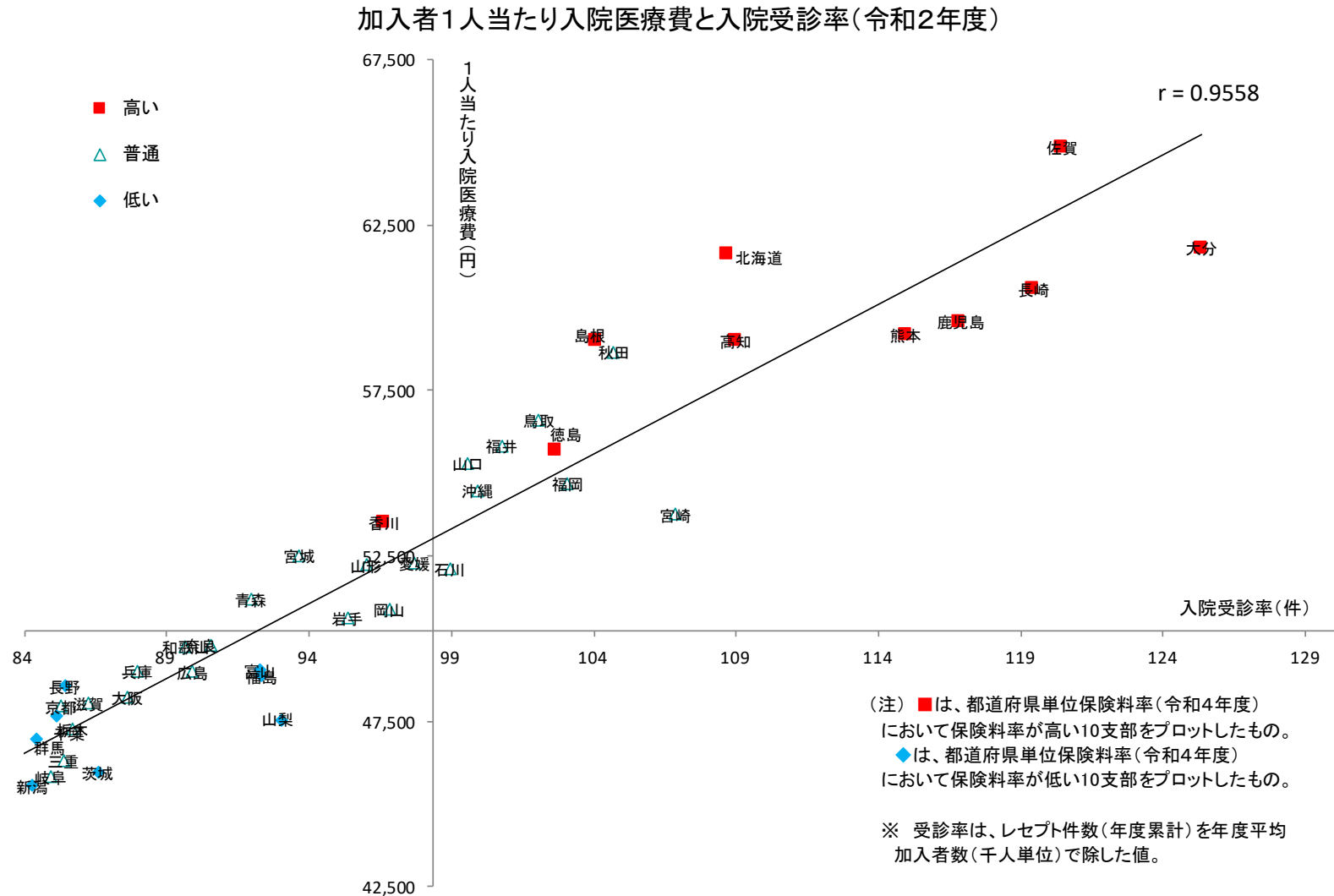
加入者1人当たり入院医療費は、佐賀県、大分県、北海道で高い。





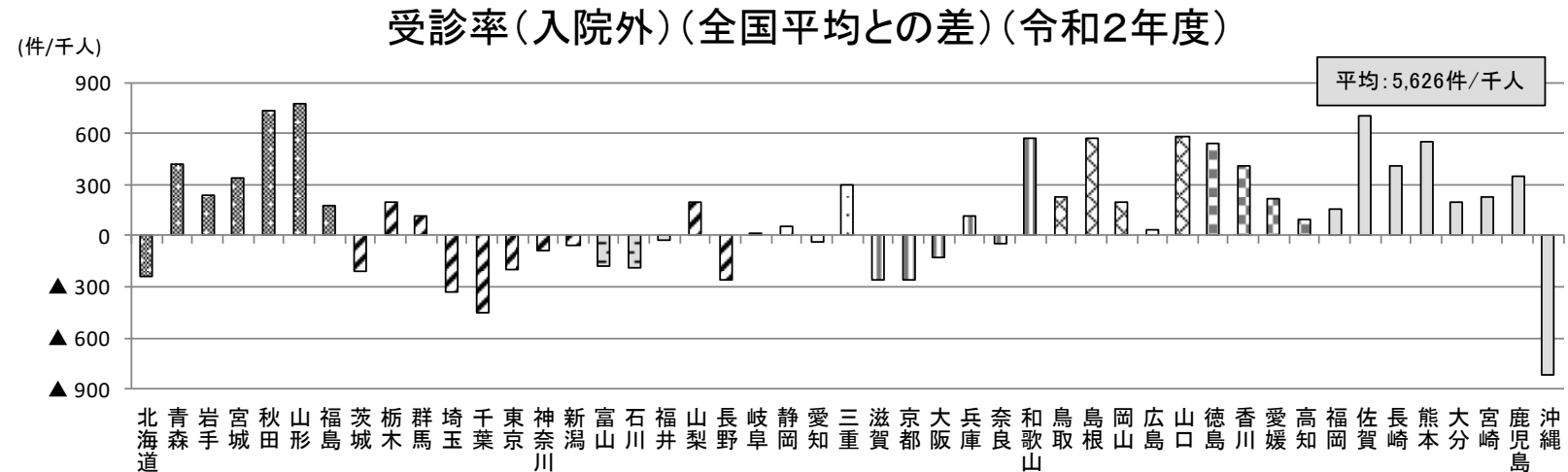
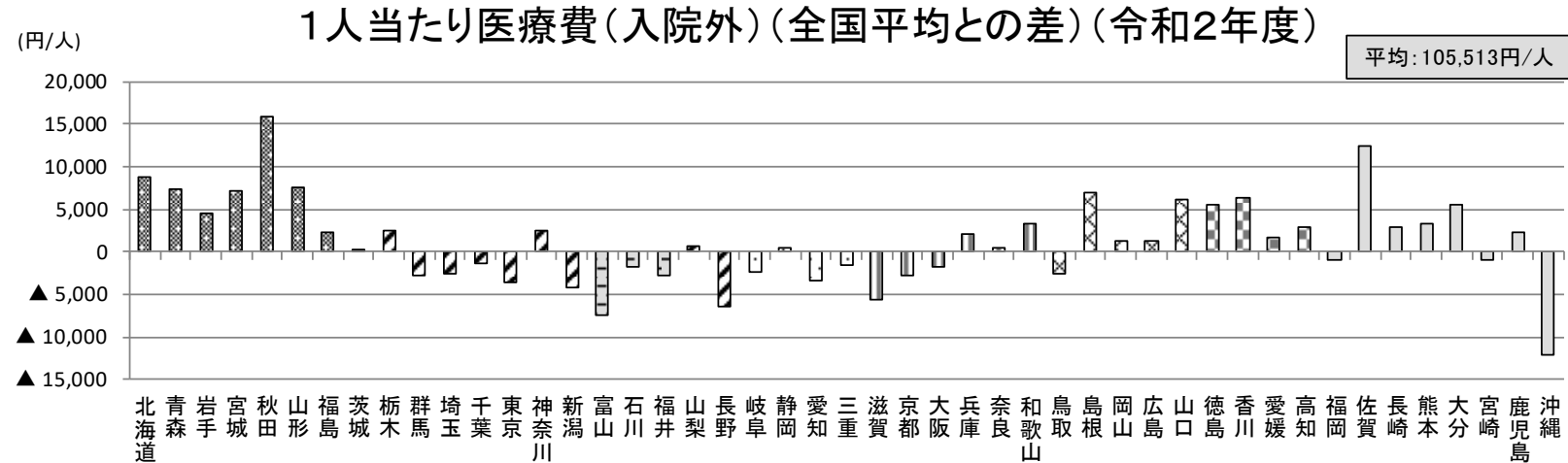
(参考) 加入者1人当たり入院医療費と入院受診率

加入者1人当たり入院医療費と入院受診率には正の相関がある。



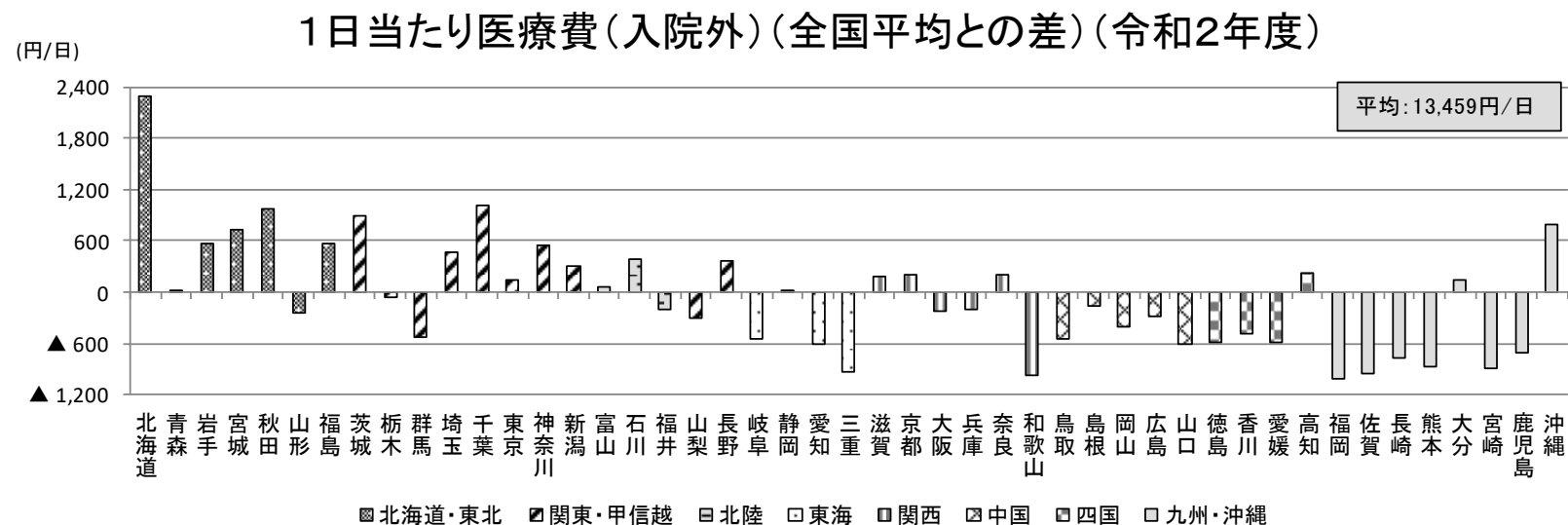
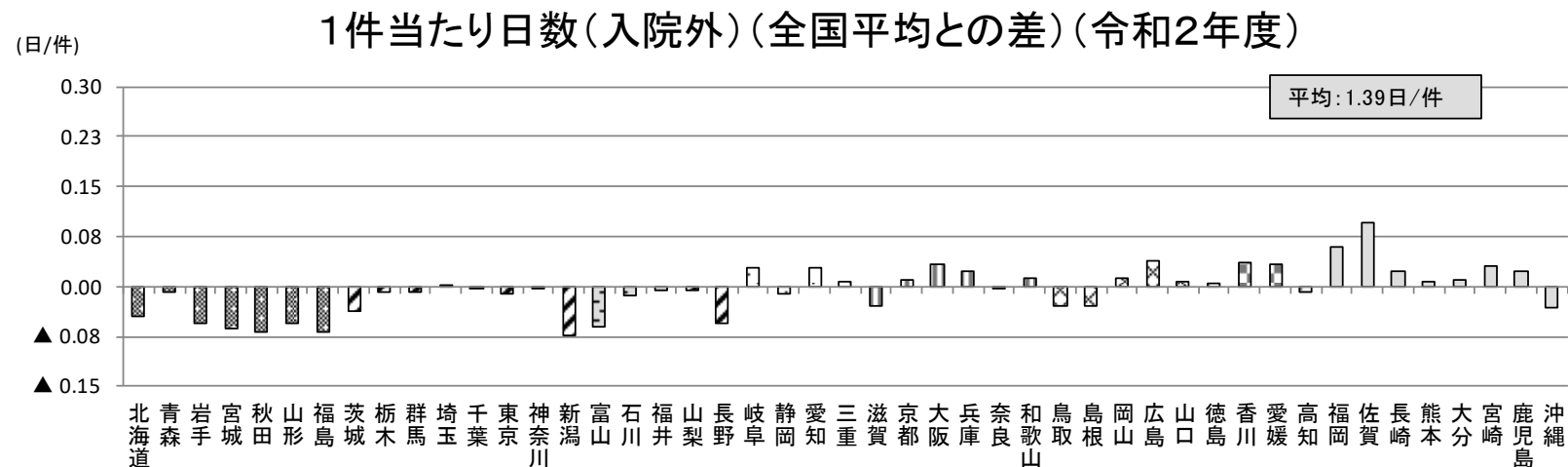
(参考) 加入者1人当たり入院外医療費の3要素分解

加入者1人当たり入院外医療費は、秋田県、佐賀県、北海道で高い。



北海道・東北 関東・甲信越 北陸 東海 関西 中国 四国 九州・沖縄

※入院外の医療費には調剤分を含む。

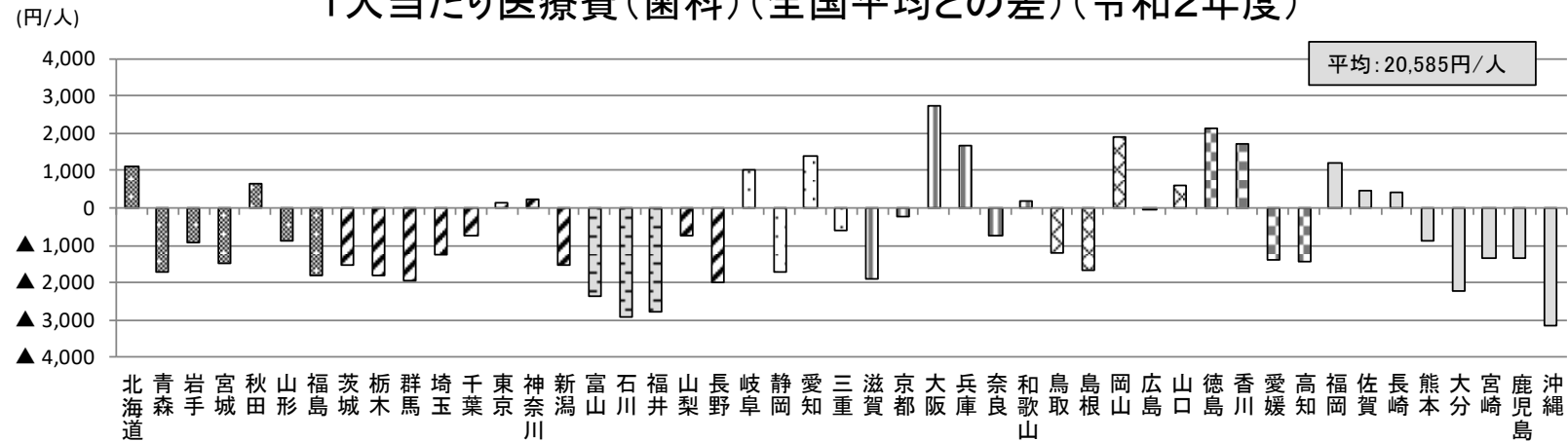


※入院外の医療費には調剤分を含む。

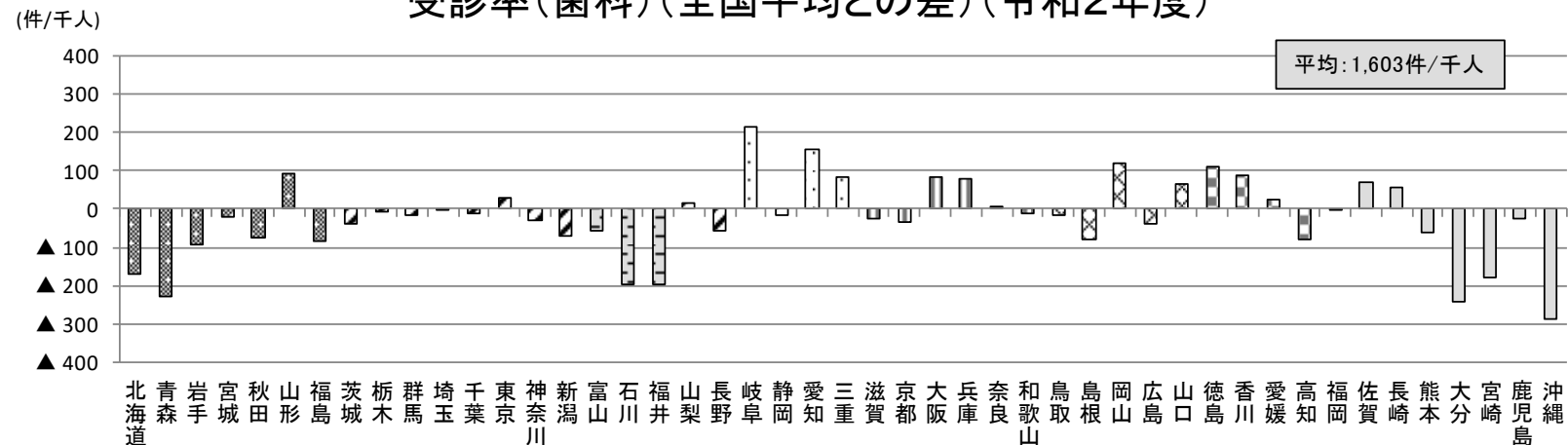
(参考)加入者1人当たり歯科医療費の3要素分解

加入者1人当たり歯科医療費は、大阪府、徳島県、岡山県で高い。

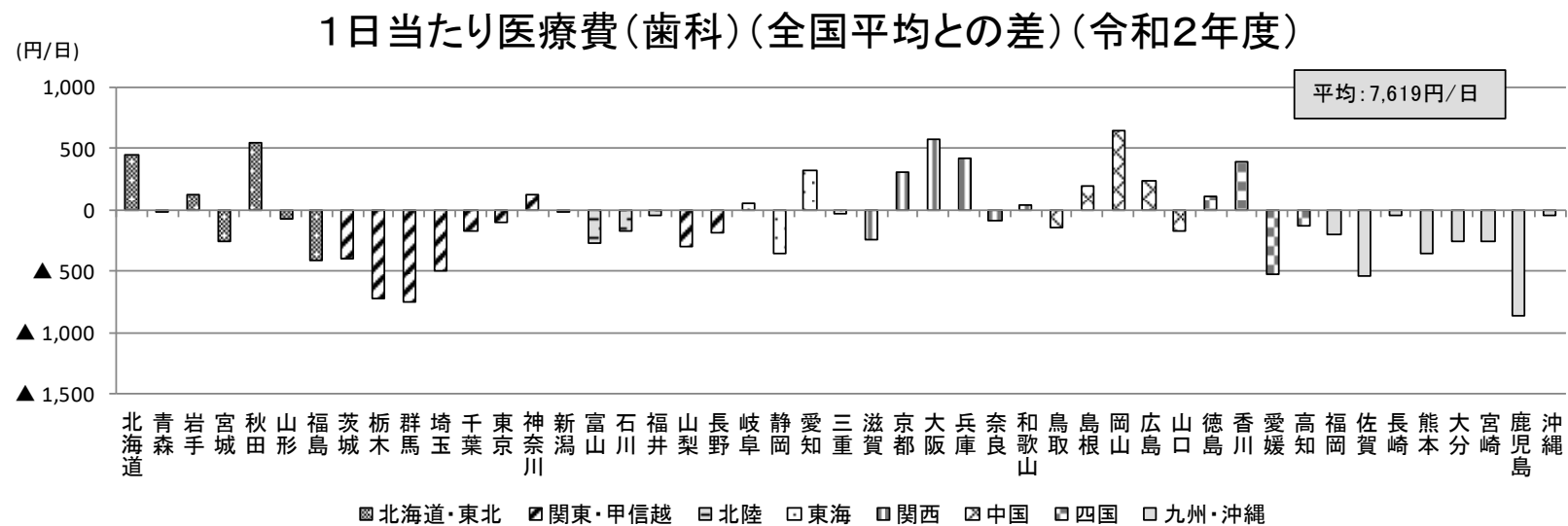
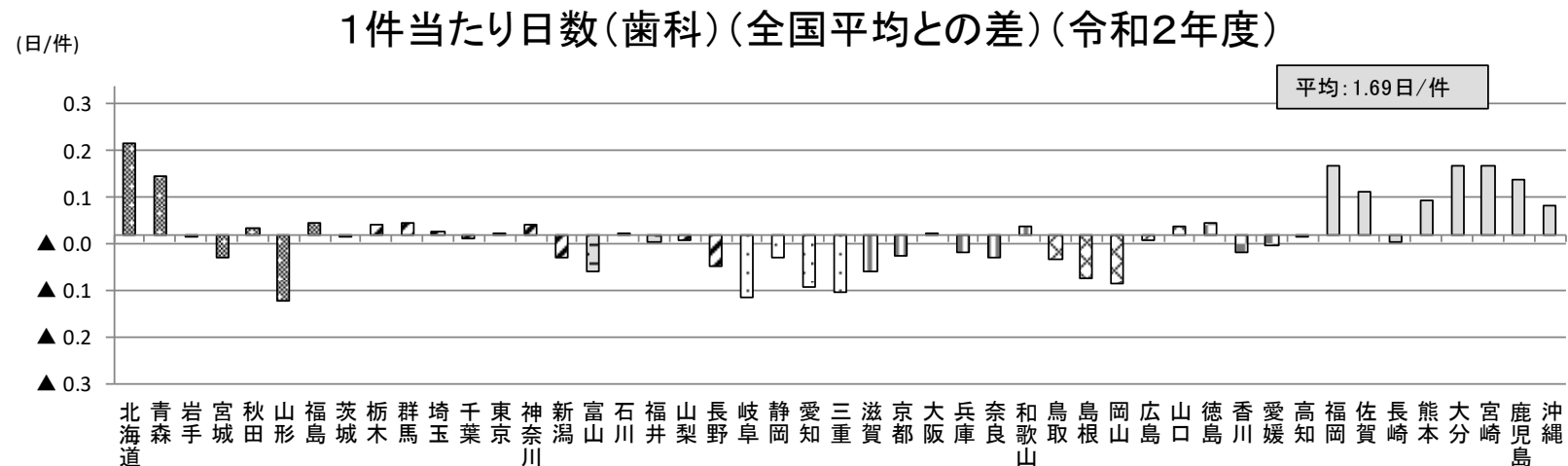
1人当たり医療費(歯科)(全国平均との差)(令和2年度)



受診率(歯科)(全国平均との差)(令和2年度)



■北海道・東北 ■関東・甲信越 ■北陸 ■東海 ■関西 ■中国 ■四国 ■九州・沖縄

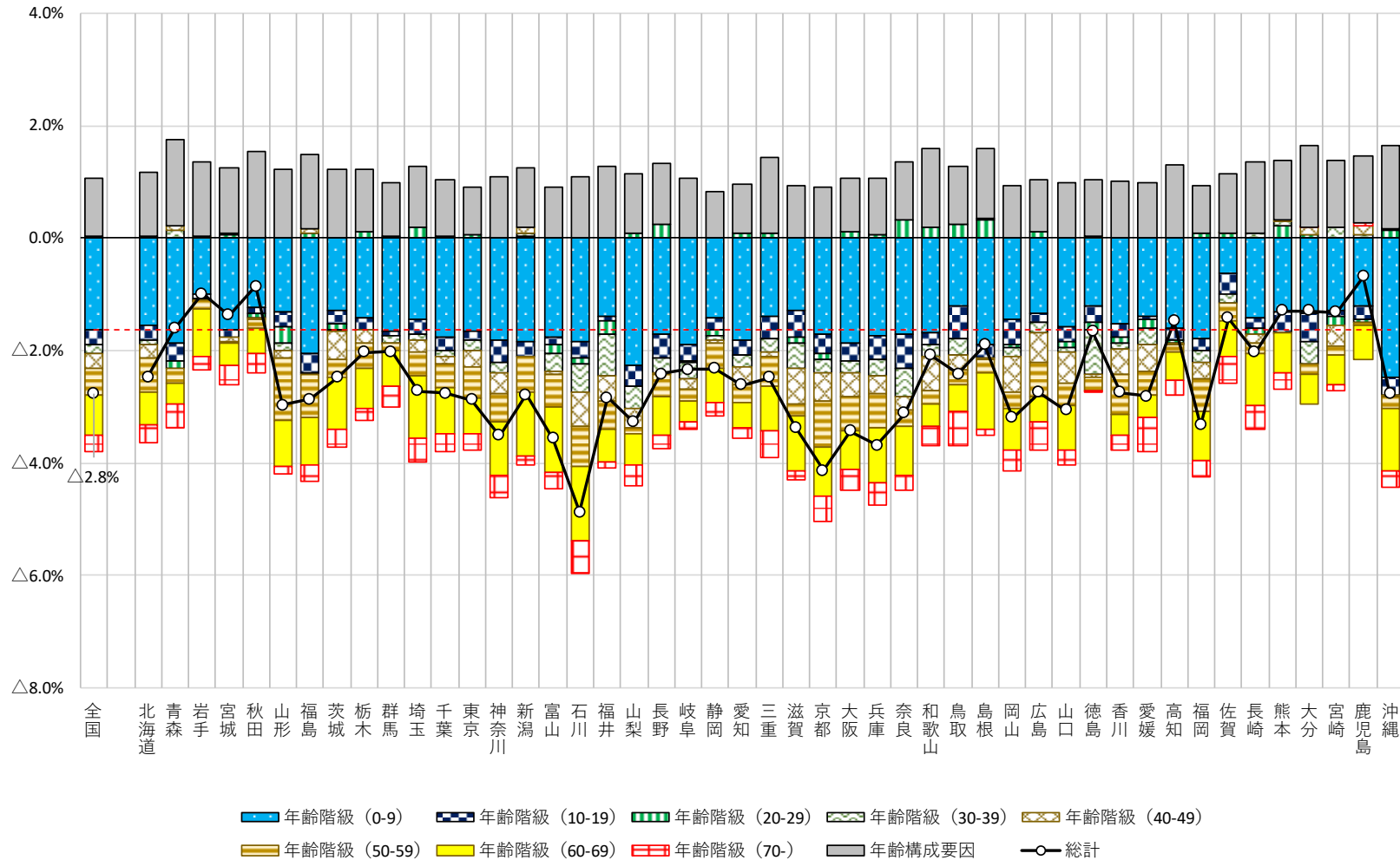


医療費の年齢階級毎の内訳

- 都道府県支部の加入者1人当たり医療費の対前年度同期比は、全国平均で▲2.8%となり、年齢階級毎にみると、他の年齢階級に比べ0～9歳の医療費が全国的にマイナスに寄与しているものの、福岡、沖縄を除く九州の0～9歳の医療費のマイナス寄与は全国平均と比べ小さくなっている。
- 診療種別の医療費を年齢階級毎にみると、入院、入院外ともに、令和元年度と比べ0～9歳の医療費の構成割合が低下し、70歳以上の医療費の構成割合が上昇した。
- 診療種別の加入者1人当たり医療費を都道府県支部別に若年層(0～9歳及び10～19歳)と高齢層(60～69歳及び70歳以上)とで分けてみると、入院では、若年層に比べ高齢層の方が都道府県支部毎の差が大きく、入院外では、70歳以上で都道府県支部毎の差がみられた。

都道府県支部別加入者1人当たり医療費の年齢階級毎の動向

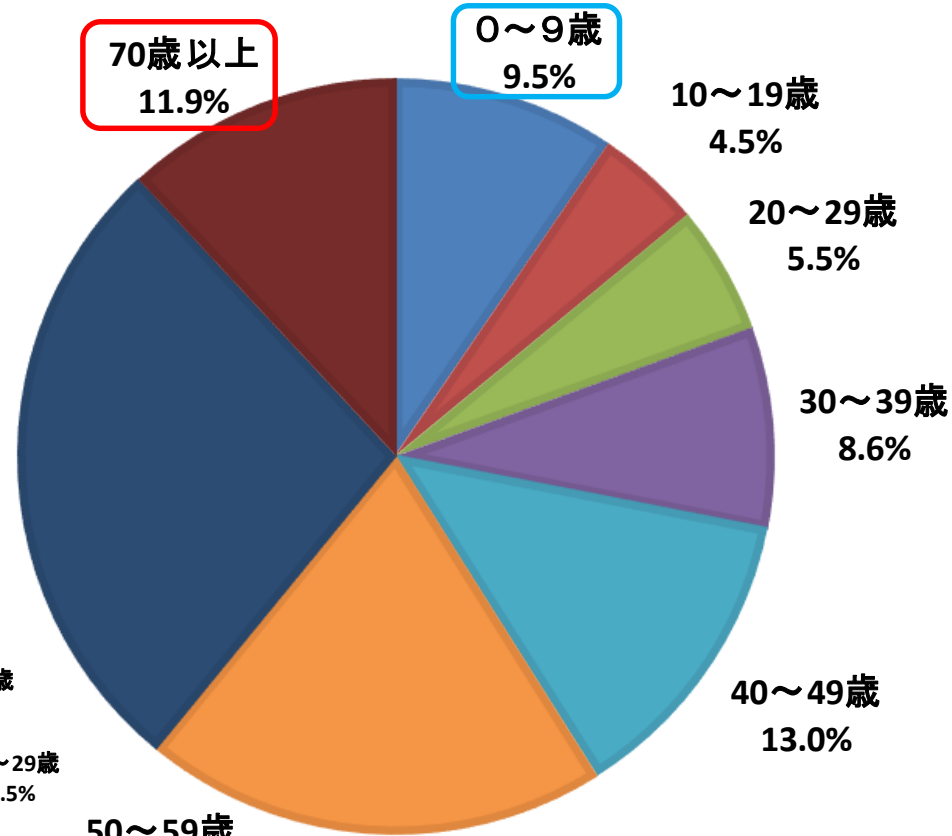
全国的に0～9歳の医療費が、他の年齢階級に比べて大きくマイナスに寄与しているが、福岡、沖縄を除く九州地方の0～9歳の医療費のマイナスの寄与は、全国平均に比べて小さくなっている。



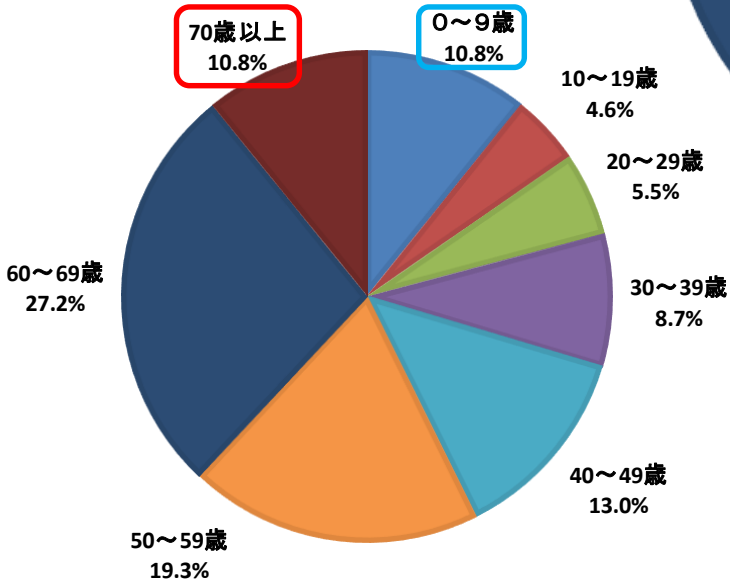
入院医療費の年齢階級毎の内訳

令和元年度と比べ、「0～9歳」の医療費の構成割合が低下し、「70歳以上」の医療費の構成割合が上昇した。

入院医療費の内訳(令和2年度)

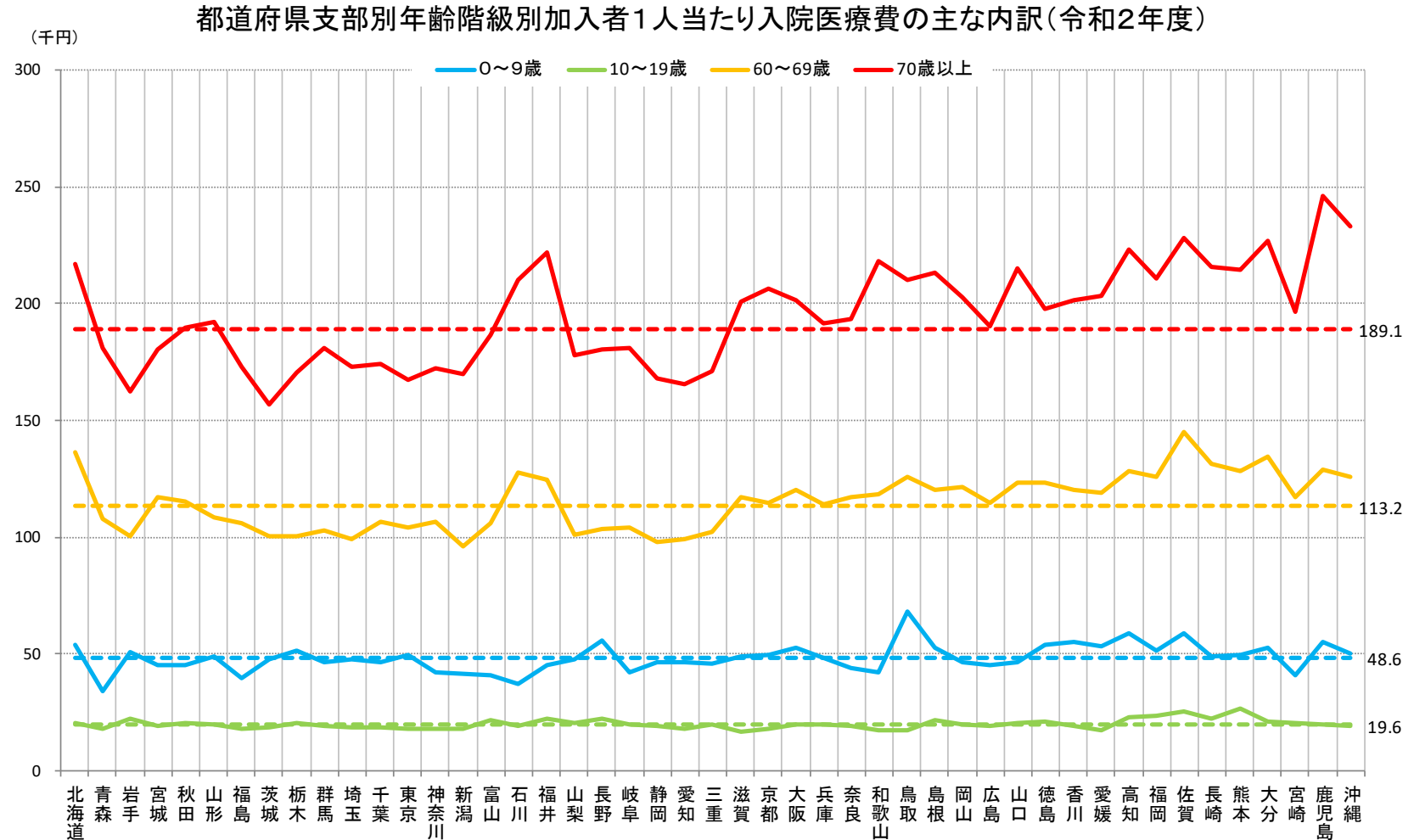


(参考)入院医療費の内訳(令和元年度)



都道府県支部別加入者1人当たり入院医療費の主な内訳

「0～9歳」、「10～19歳」、「60～69歳」及び「70歳以上」についてみたところ、「60～69歳」及び「70歳以上」は「0～9歳」及び「10～19歳」に比べ都道府県支部毎の差が大きい傾向がある。

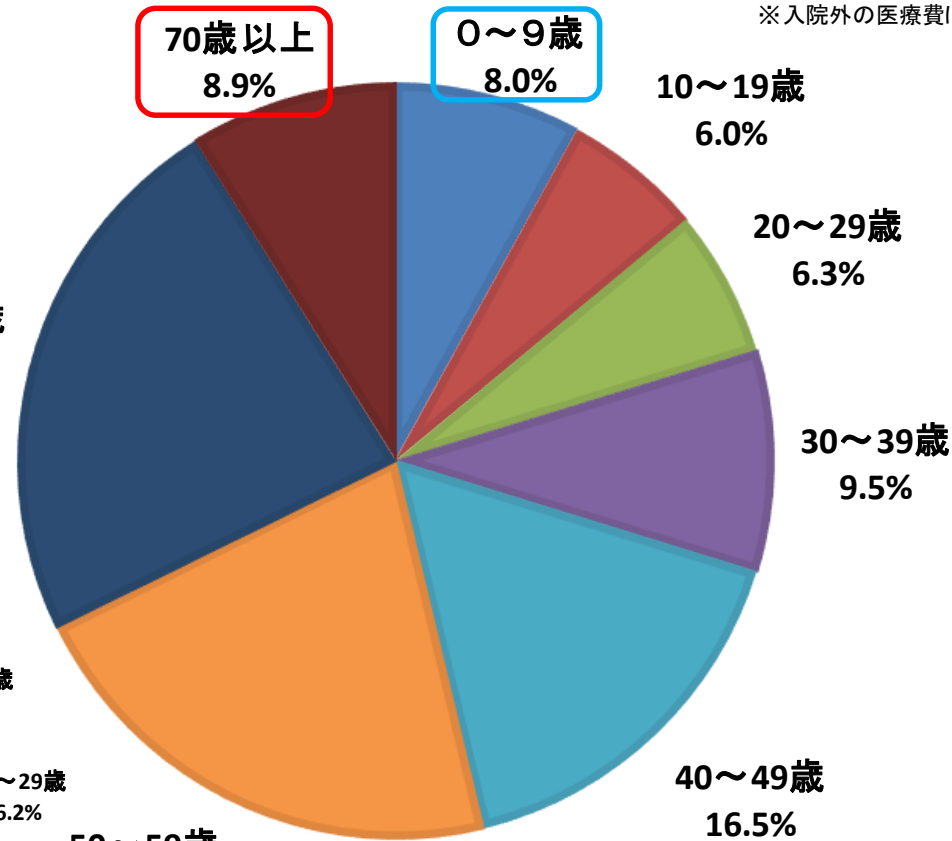


入院外医療費の年齢階級毎の内訳

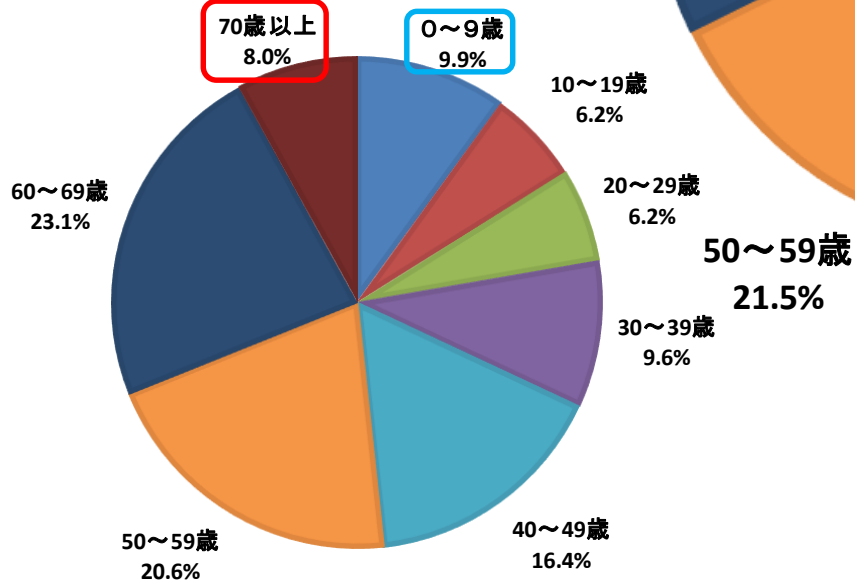
令和元年度と比べ、入院外でみても、「0～9歳」の医療費の構成割合が低下し、「70歳以上」の医療費の構成割合が上昇した。

入院外医療費の内訳(令和2年度)

※入院外の医療費には調剤分を含む。

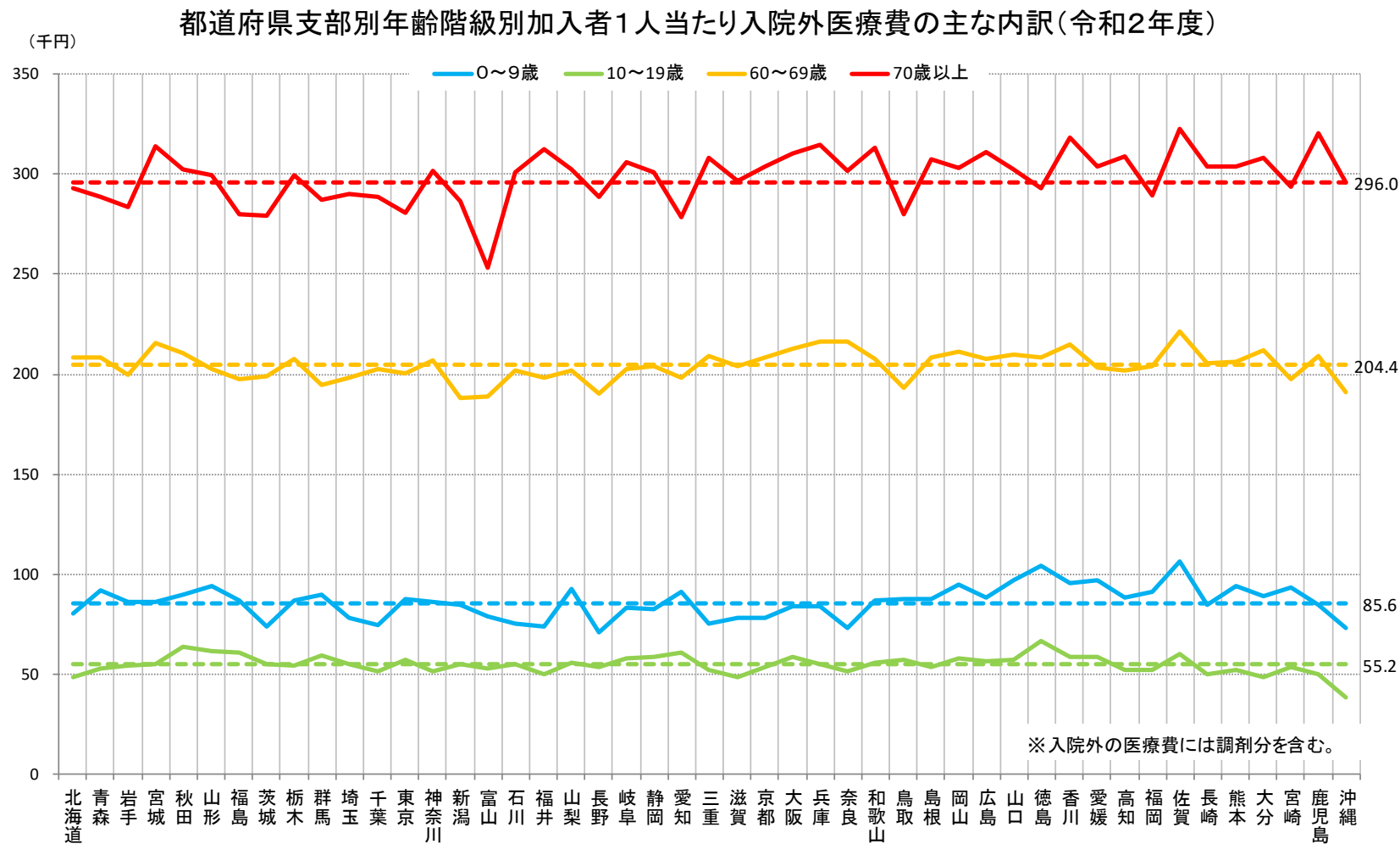


(参考)入院外医療費の内訳(令和元年度)



都道府県支部別加入者1人当たり入院外医療費の主な内訳

「0～9歳」、「10～19歳」、「60～69歳」及び「70歳以上」についてみたところ、「70歳以上」は他の年齢階級に比べ都道府県支部毎の差がみられる。



医療費の疾病毎の内訳

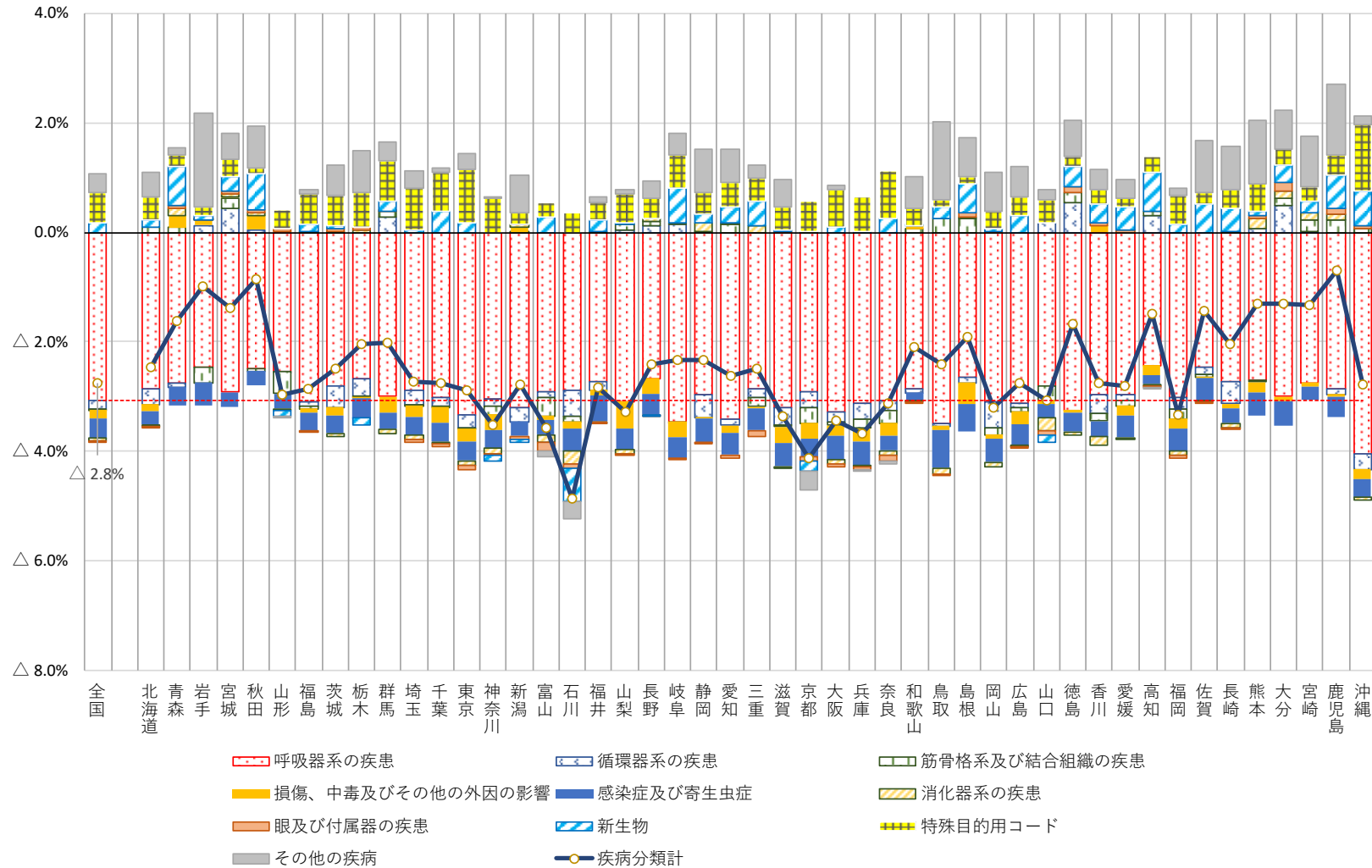
- 都道府県支部の加入者1人当たり医療費を疾病毎にみると、他の疾病に比べ呼吸器系の疾患の医療費が全国的にマイナスに寄与しているものの、沖縄を除く九州の呼吸器系の疾患の医療費のマイナス寄与は全国平均と比べ小さくなっている。
- 入院医療費について疾病毎に内訳をみたところ、「新生物」が最も多く、次いで「循環器系の疾患」、「筋骨格系及び結合組織の疾患」となっている。
- 都道府県支部別加入者1人当たり入院医療費の内訳として、「新生物」、「循環器系の疾患」、「筋骨格系及び結合組織の疾患」、「生活習慣病(がんを除く。)*」についてみたところ、「新生物」は他の3つの疾患に比べ都道府県支部毎の差が大きい傾向がある。

※ 生活習慣病(がんを除く)は、内分泌、栄養及び代謝疾患(糖尿病、脂質異常症)、循環器系疾患(高血圧性疾患、虚血性心疾患、くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞、脳動脈硬化(症)、その他の脳血管疾患)に該当するものを分類している。

- 入院外医療費について疾病毎に内訳をみたところ、「循環器系の疾患」が最も多く、次いで「内分泌、栄養及び代謝疾患」、「新生物」となっている。
- 都道府県支部別加入者1人当たり入院外医療費の内訳として、「循環器系の疾患」、「内分泌、栄養及び代謝疾患」、「新生物」、「呼吸器系の疾患」、「生活習慣病(がんを除く。)*」についてみたところ、「生活習慣病(がんを除く。)*」は他の4つの疾患に比べ都道府県支部毎の差が大きい傾向がある。
- 生活習慣病として代表的な「高血圧症」、「脂質異常症」、「糖尿病」について、加入者1人当たり入院外医療費を3要素(受診率・1件当たり日数・1日当たり医療費)分解したところ、加入者1人当たり入院外医療費は、「高血圧症」及び「糖尿病」については全国と比べ東北、九州等、「脂質異常症」については全国と比べ東北等で高い傾向にあり、これは3要素のうち受診率の高さに起因していると考えられる。

都道府県支部別加入者1人当たり医療費の疾病毎の動向

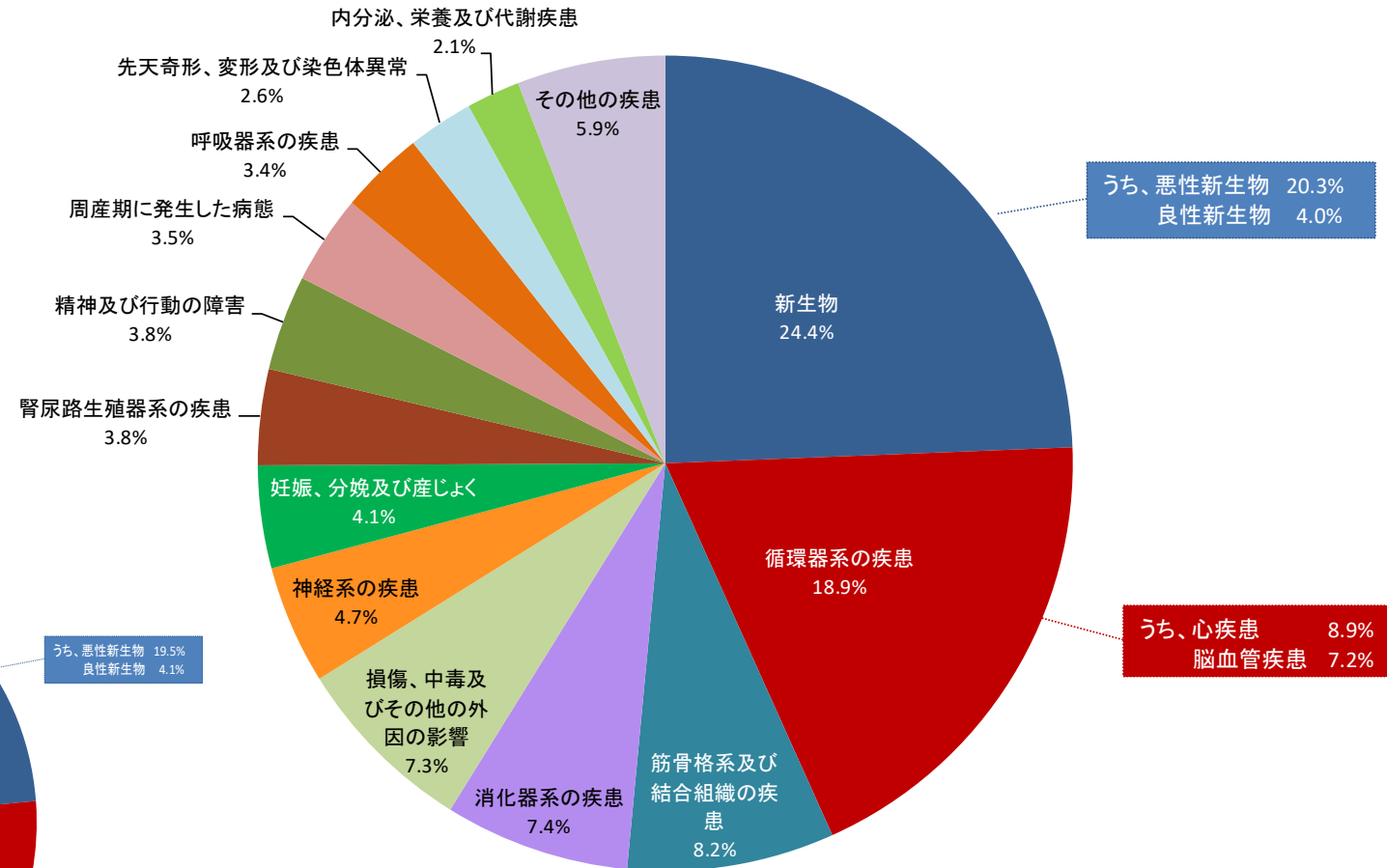
全国的に呼吸器系の疾患の医療費が、他の疾病に比べて大きくマイナスに寄与しているが、沖縄を除く九州地方の呼吸器系の疾患の医療費のマイナスの寄与は、全国平均に比べて小さくなっている。



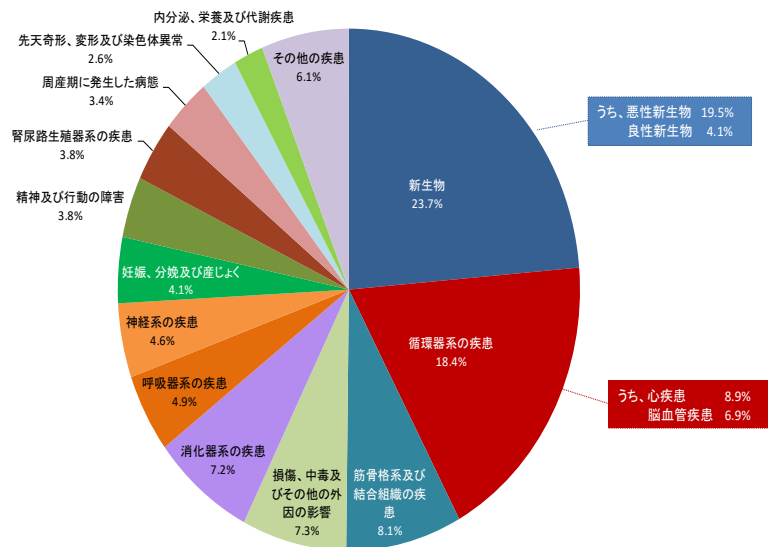
入院医療費の疾病毎の内訳

「新生物」が最も多く、次いで「循環器系の疾患」、「筋骨格系及び結合組織の疾患」となっている。

入院医療費の内訳（令和2年度）

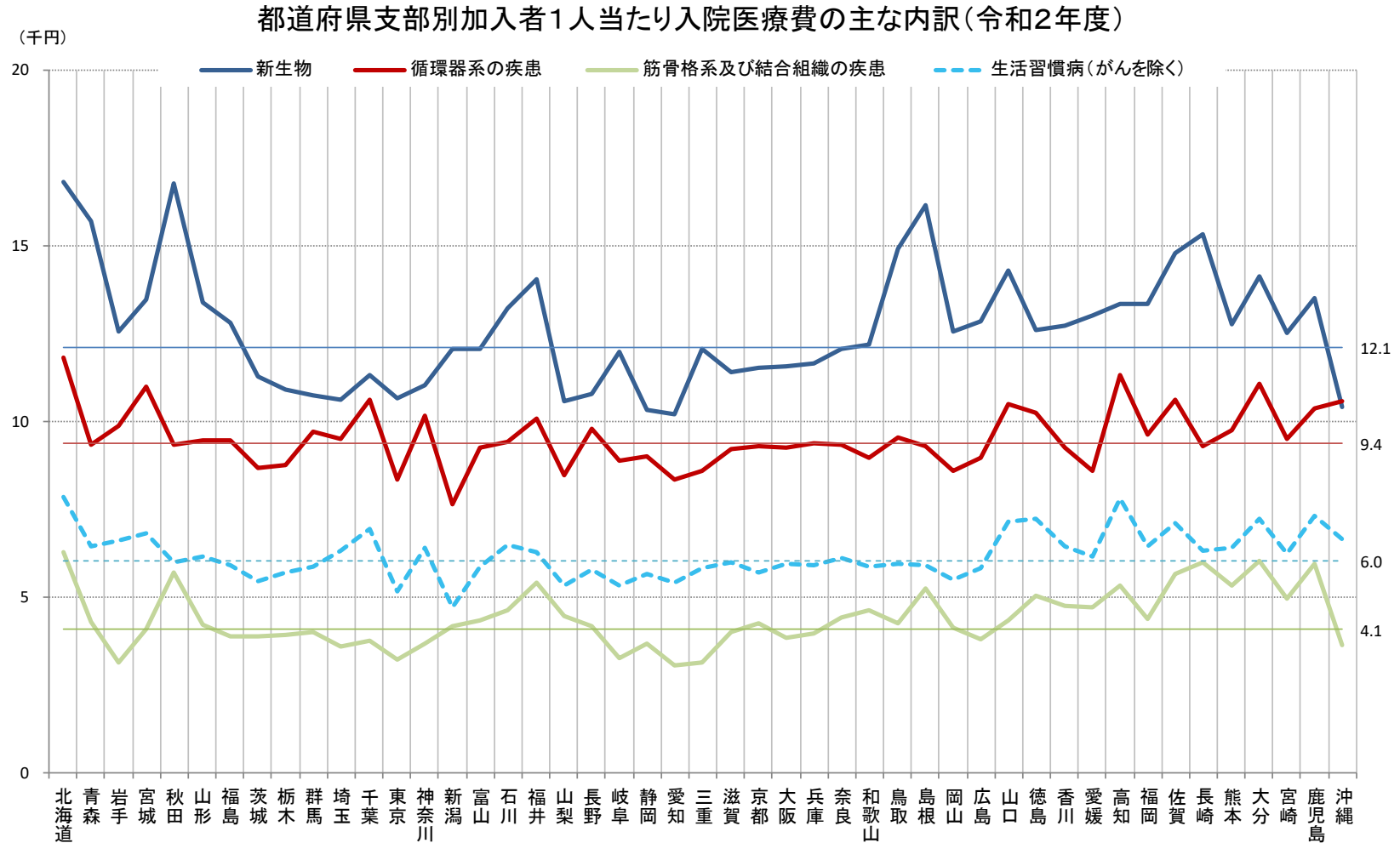


（参考）入院医療費の内訳（令和元年度）



都道府県支部別加入者1人当たり入院医療費の主な内訳

「新生物」、「循環器系の疾患」、「筋骨格系及び結合組織の疾患」、「生活習慣病(がんを除く。)」についてみたところ、「新生物」は他の3つの疾患に比べ都道府県支部毎の差が大きい傾向がある。

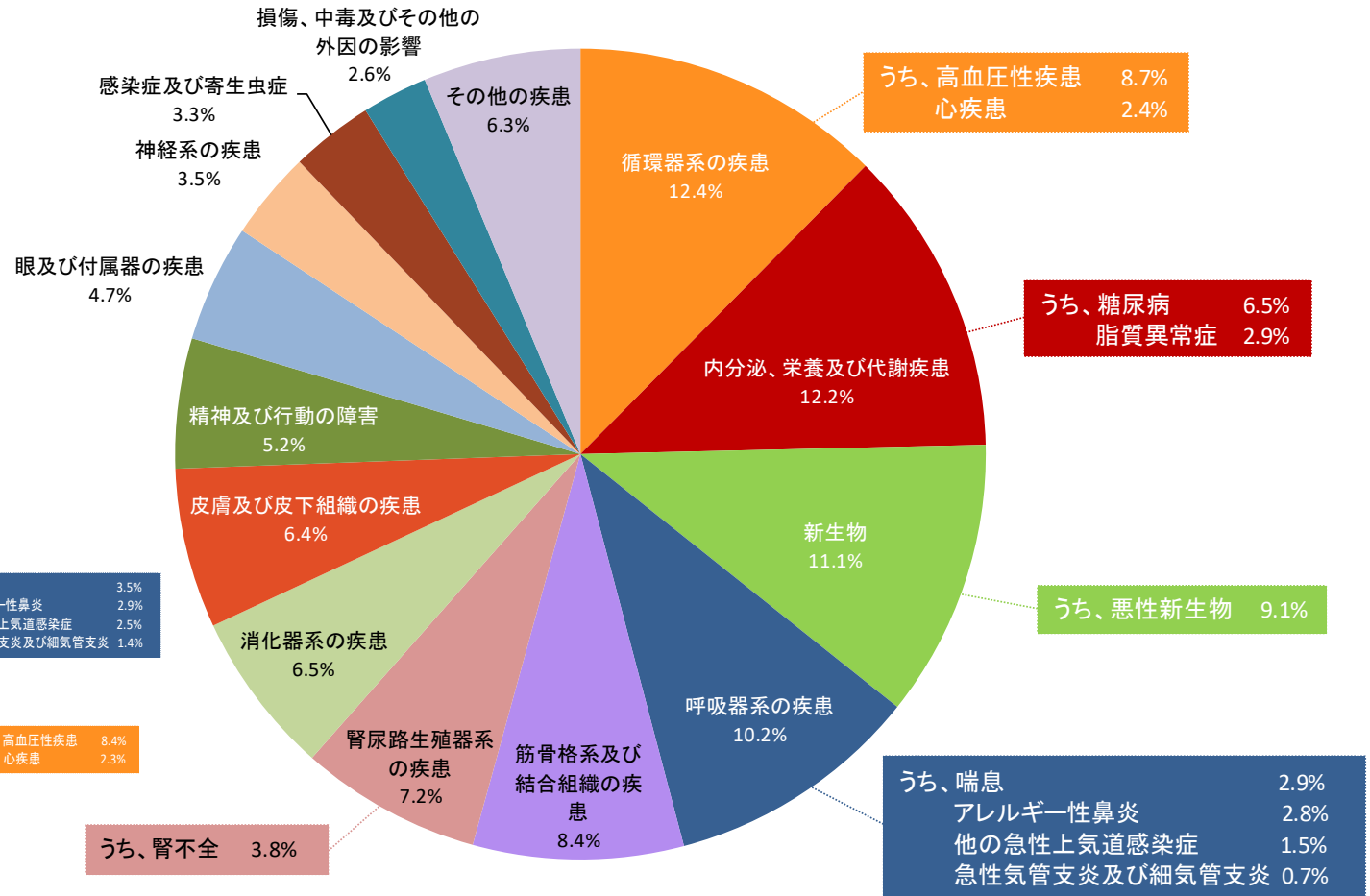


入院外医療費の疾病毎の内訳

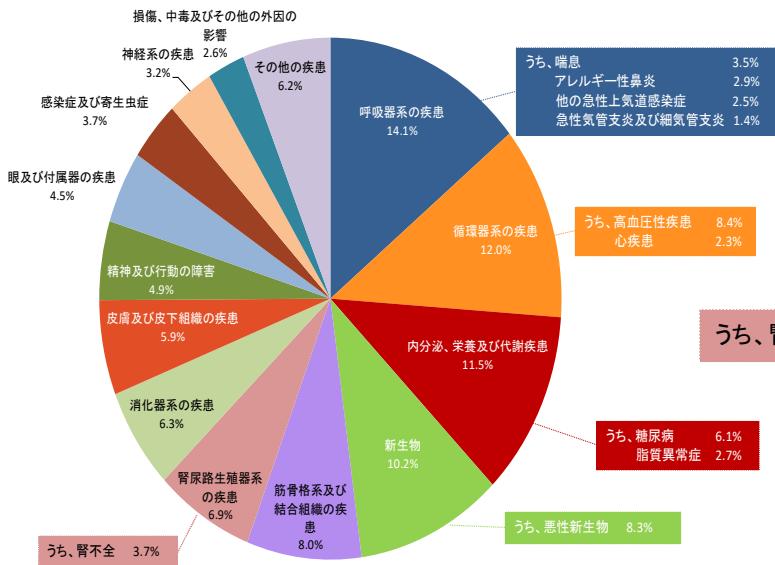
「循環器系の疾患」が最も多く、次いで「内分泌、栄養及び代謝疾患」、「新生物」となっている。

入院外医療費の内訳(令和2年度)

※入院外の医療費には調剤分を含む。

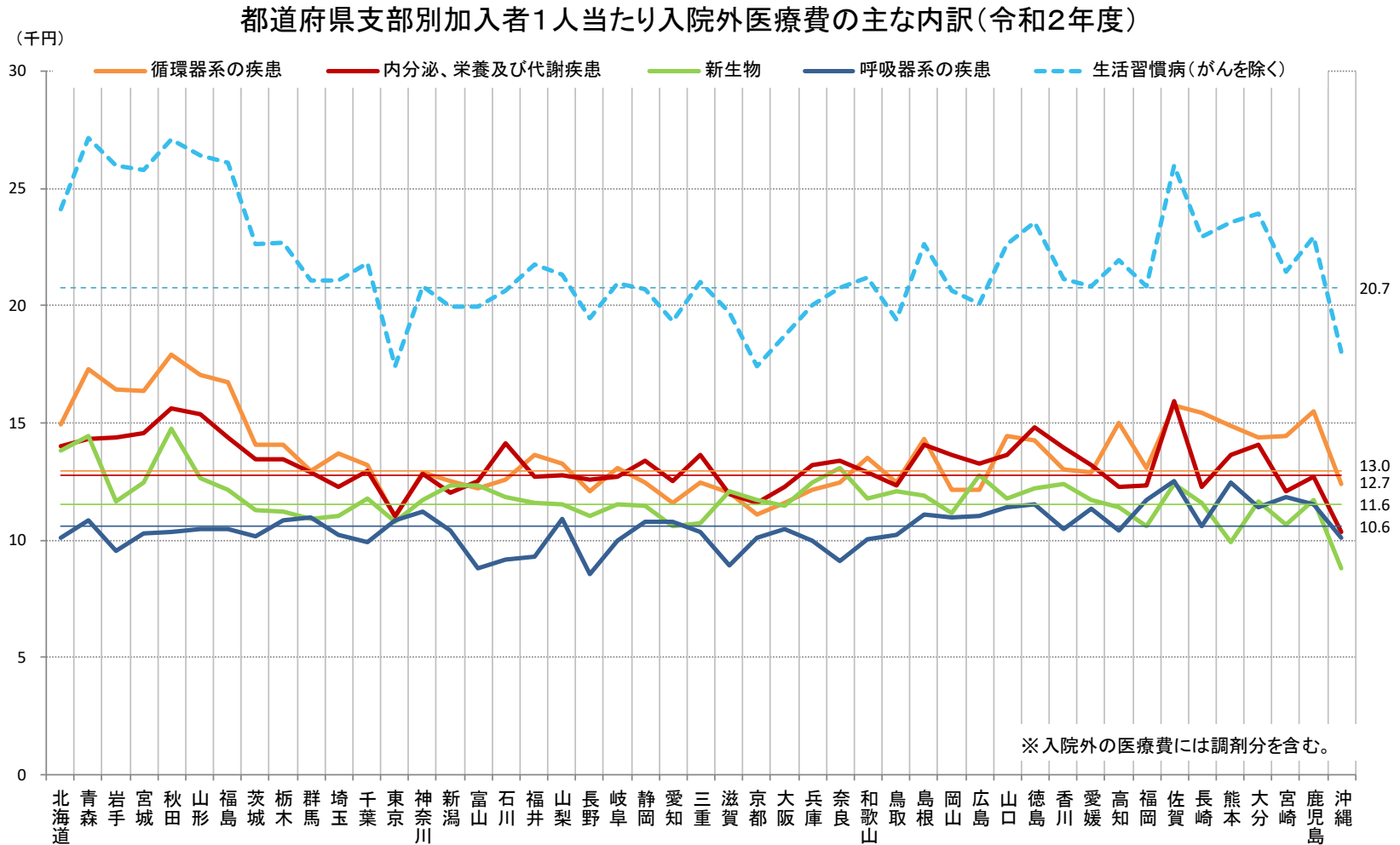


(参考)入院外医療費の内訳(令和元年度)



都道府県支部別加入者1人当たり入院外医療費の主な内訳

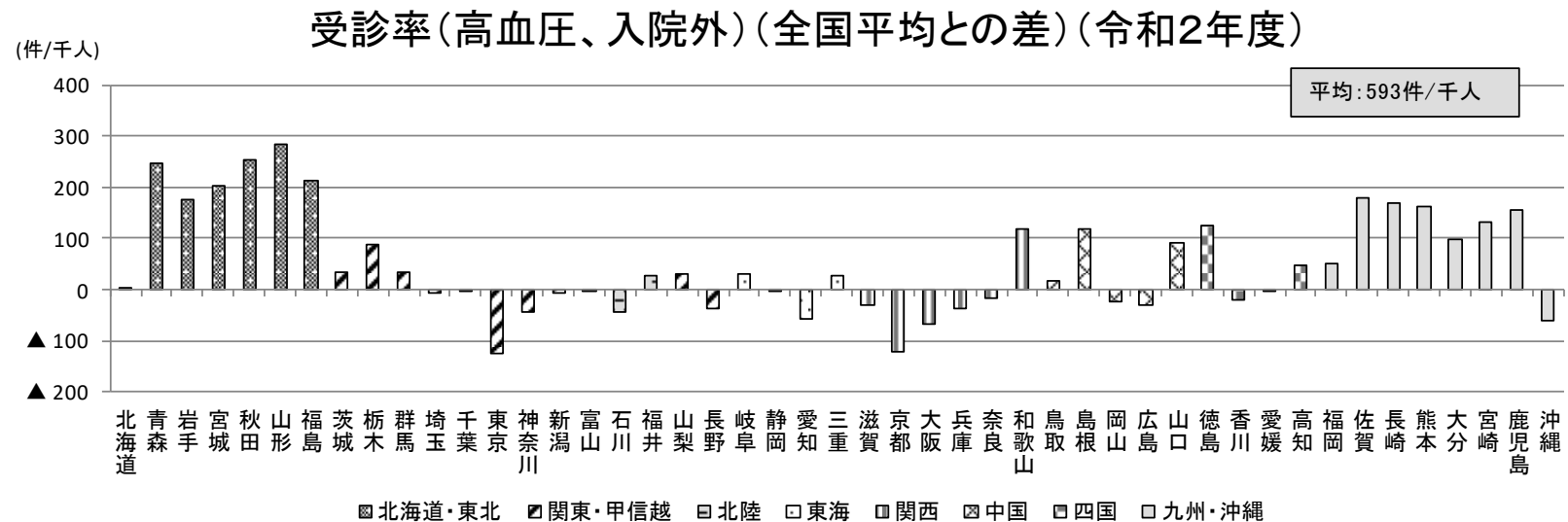
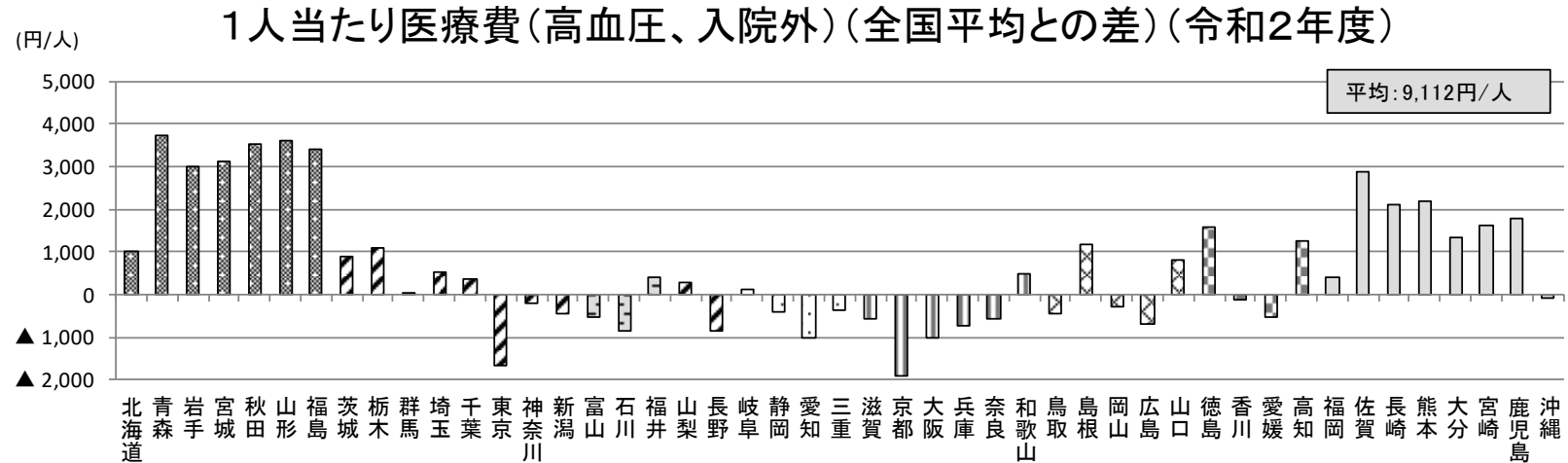
「循環器系の疾患」、「内分泌、栄養及び代謝疾患」、「新生物」、「呼吸器系の疾患」、「生活習慣病(がんを除く。)」についてみたところ、「生活習慣病(がんを除く。)」は他の4つの疾患に比べ都道府県支部毎の差が大きい傾向がある。



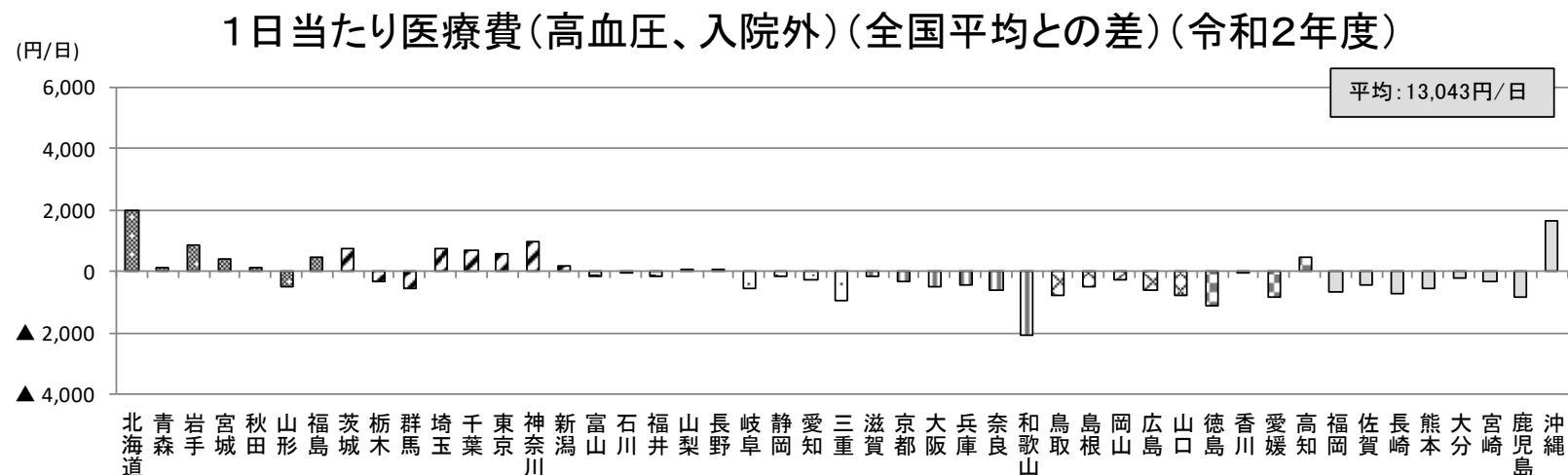
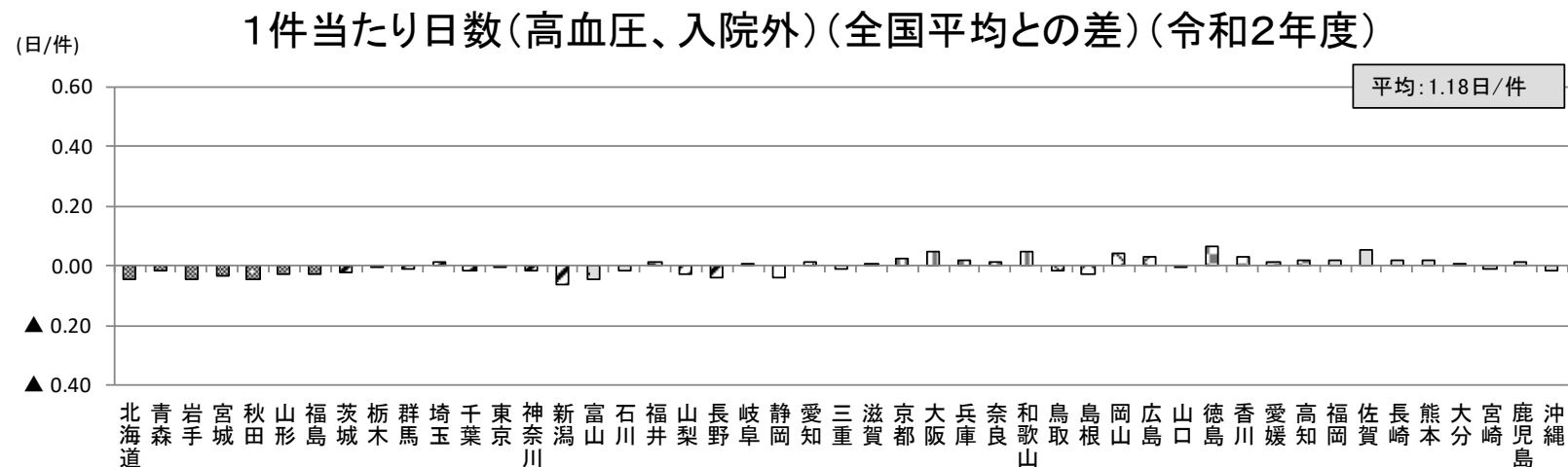
注. 生活習慣病(がんを除く)は、内分泌、栄養及び代謝疾患(糖尿病、脂質異常症)、循環器系疾患(高血圧性疾患、虚血性心疾患、くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞、脳動脈硬化(症)、その他の脳血管疾患)に該当するものを分類している。

加入者1人当たり入院外医療費(高血圧症)の3要素分解

高血圧症に係る加入者1人当たり入院外医療費は、青森県、山形県、秋田県で高く、これは3要素のうち受診率の高さに起因していると考えられる。



※入院外の医療費には調剤分を含む。

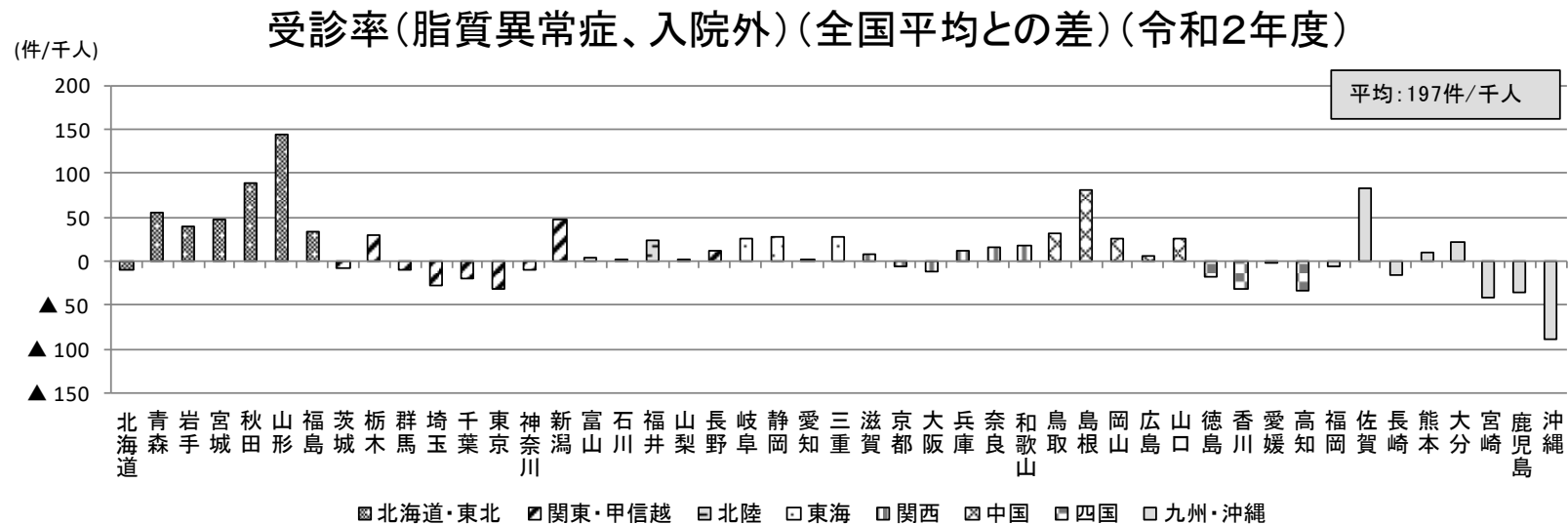
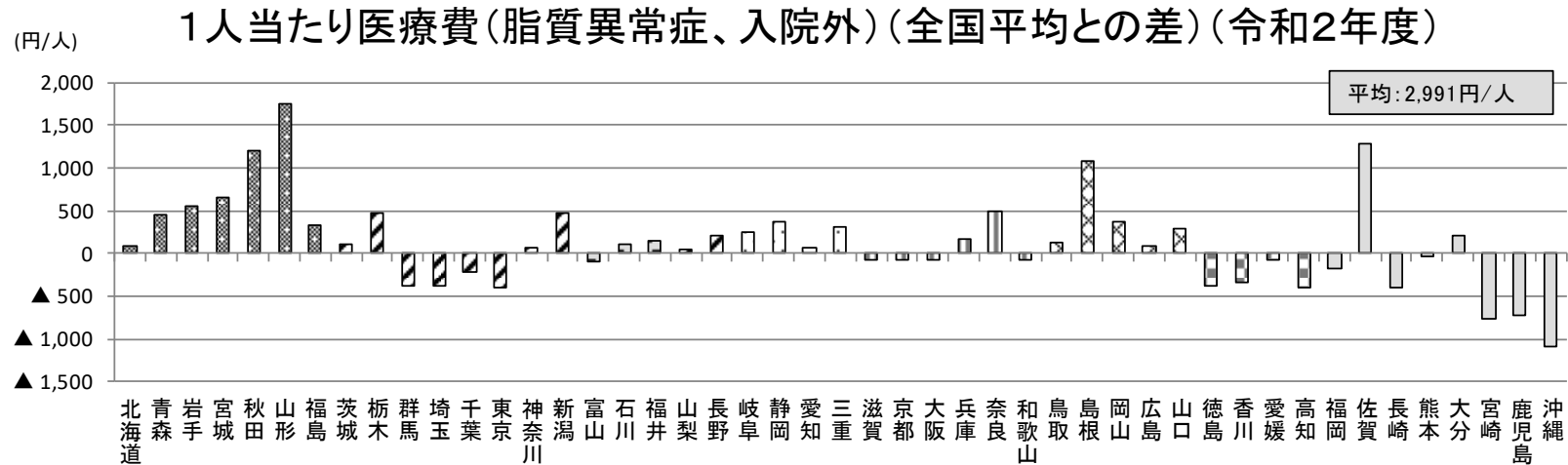


北海道・東北 関東・甲信越 北陸 東海 関西 中国 四国 九州・沖縄

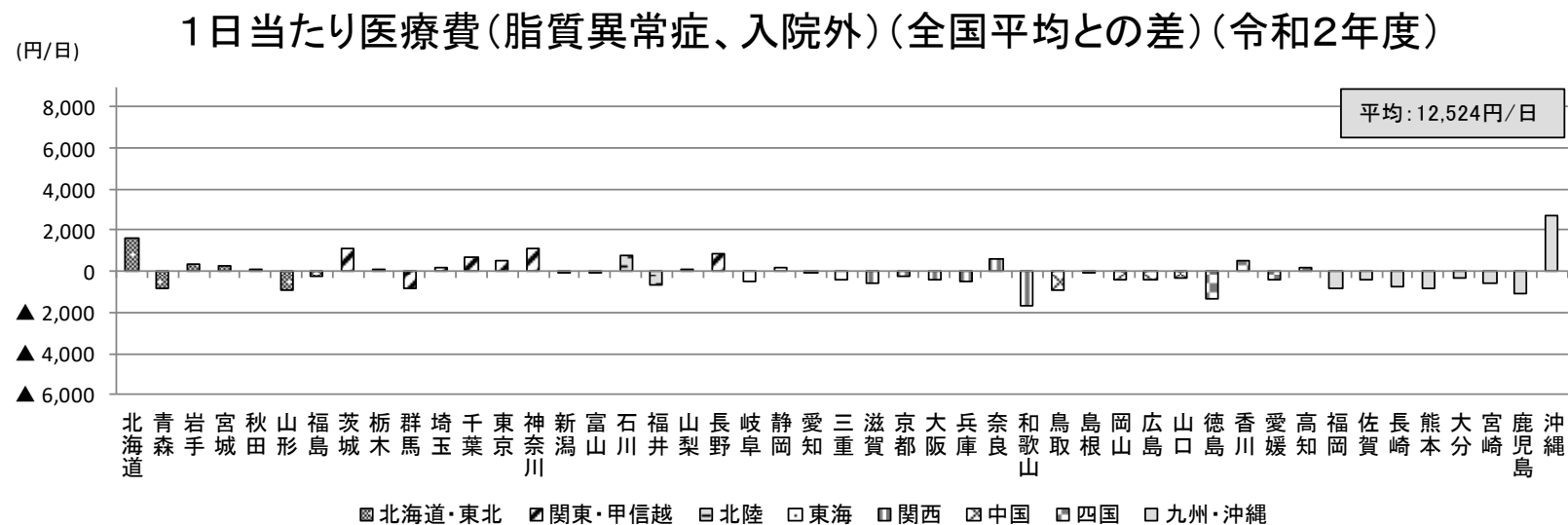
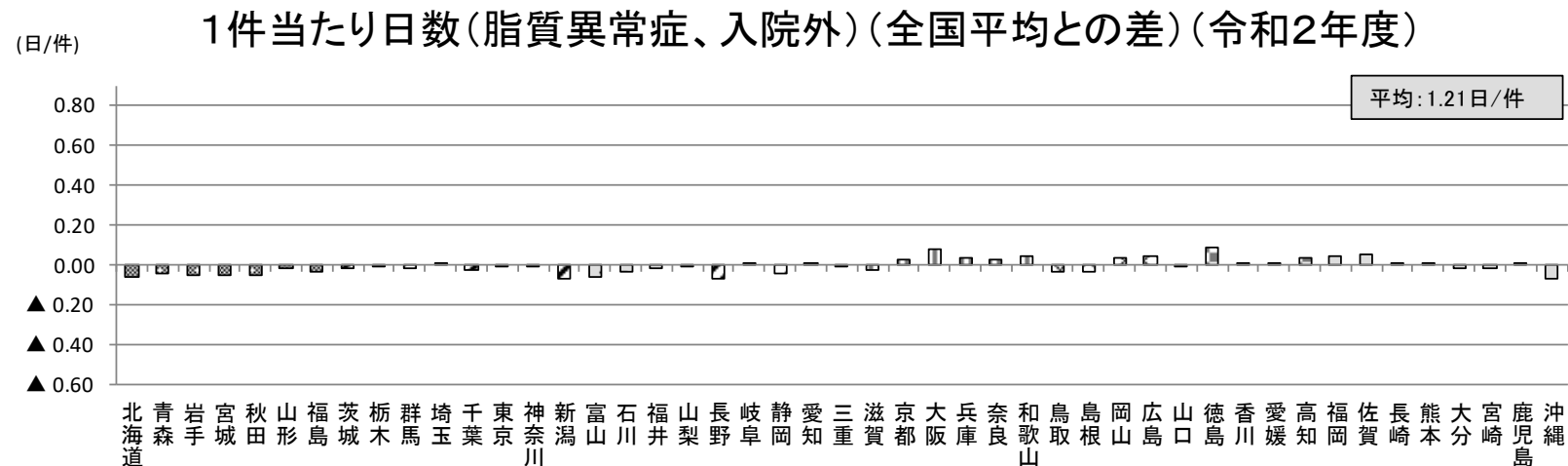
※入院外の医療費には調剤分を含む。

加入者1人当たり入院外医療費(脂質異常症)の3要素分解

脂質異常症に係る加入者1人当たり入院外医療費は、山形県、佐賀県、秋田県で高く、これは3要素のうち受診率の高さに起因していると考えられる。



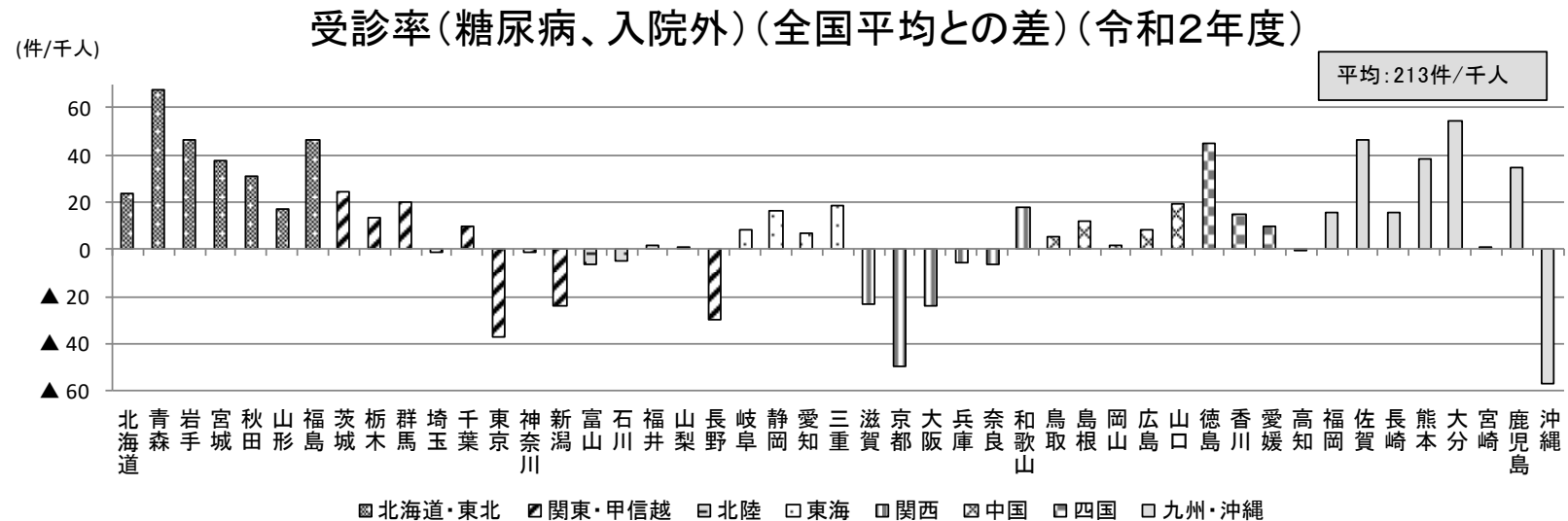
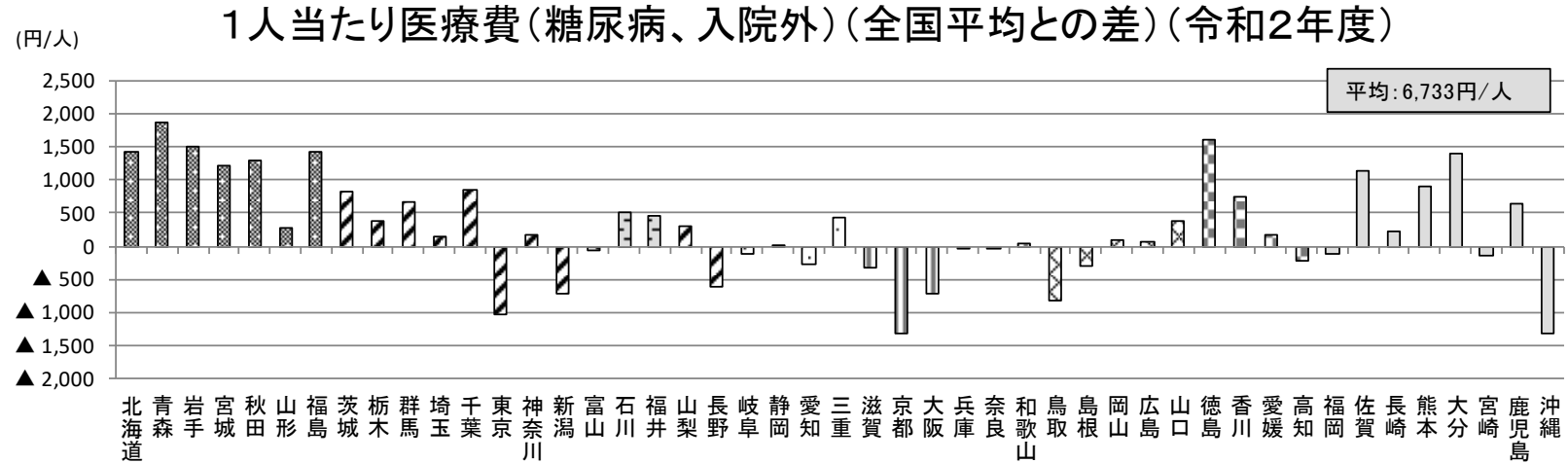
※入院外の医療費には調剤分を含む。



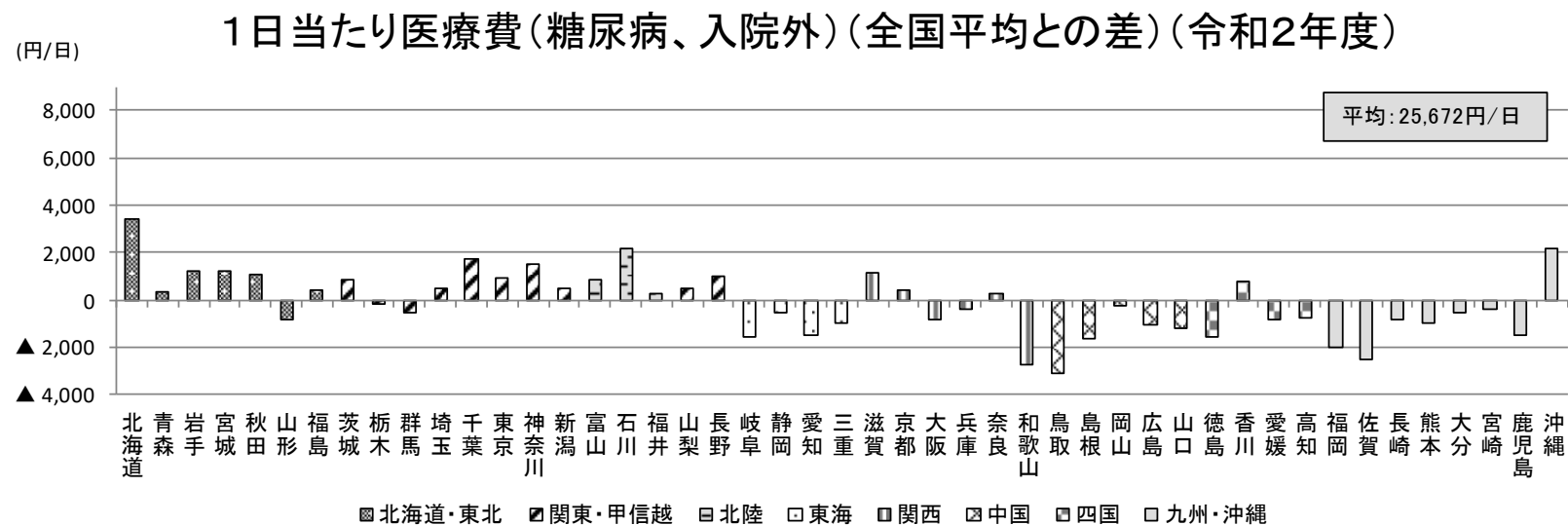
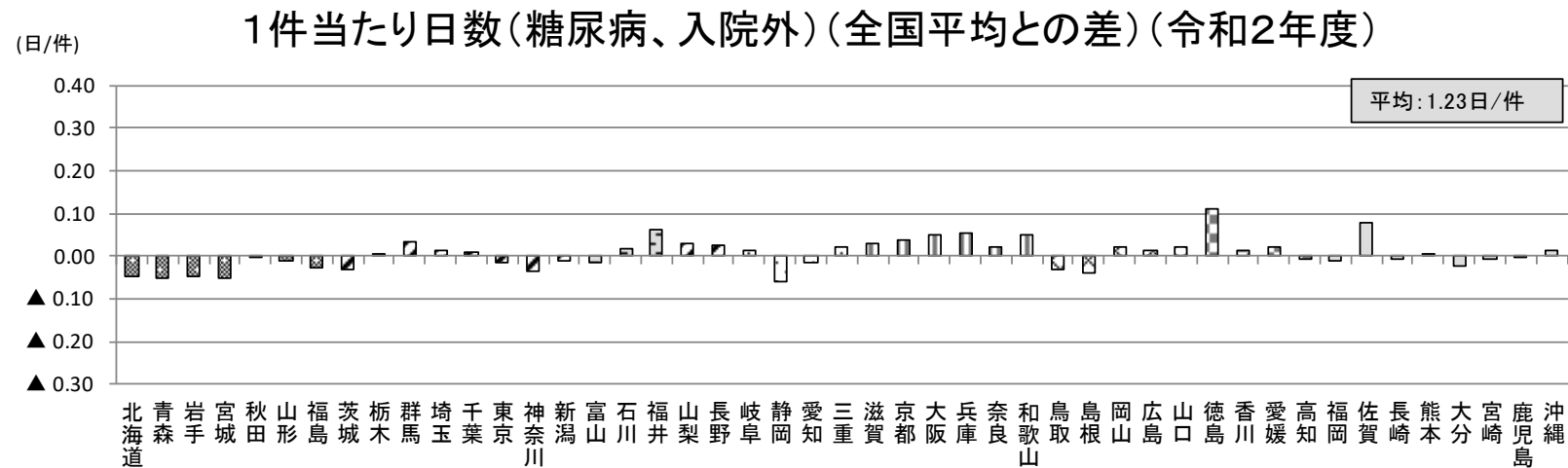
※入院外の医療費には調剤分を含む。

加入者1人当たり入院外医療費(糖尿病)の3要素分解

糖尿病に係る加入者1人当たり入院外医療費は、青森県、徳島県、岩手県で高く、これは3要素のうち受診率の高さに起因していると考えられる。



※入院外の医療費には調剤分を含む。



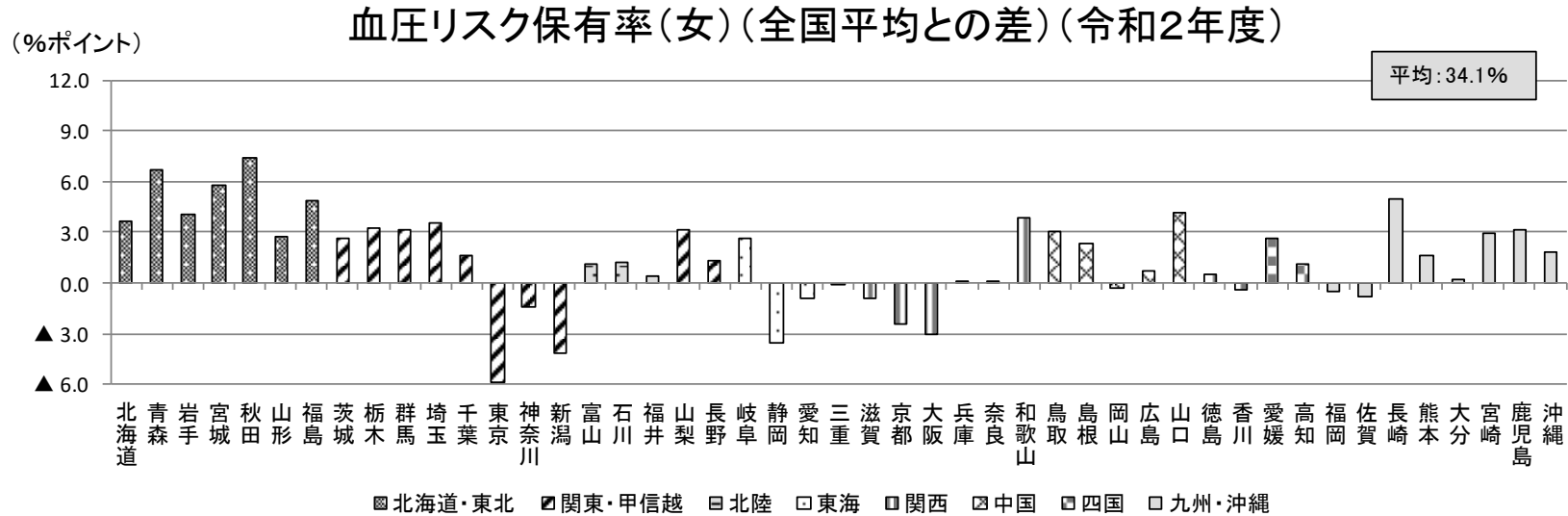
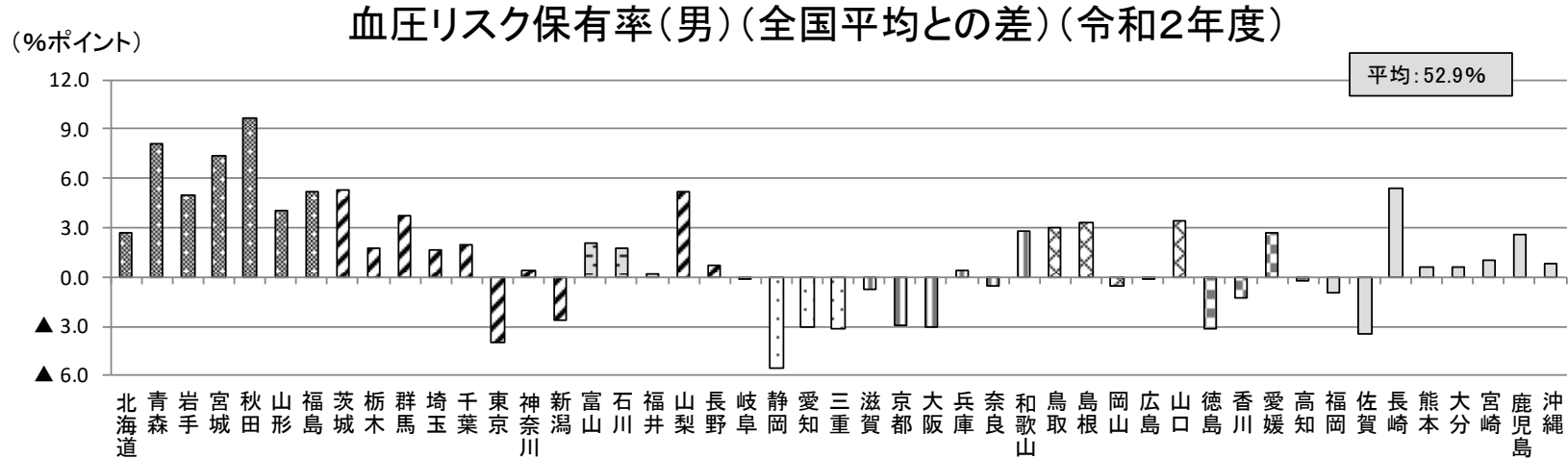
※入院外の医療費には調剤分を含む。

都道府県支部別健診結果の状況

- 一定の条件の下で抽出した生活習慣病予防健診及び事業者健診（一般健診、付加健診）データの結果を男女別にみたところ、男女によらず「血圧リスク保有率」、「脂質リスク保有率」、「代謝リスク保有率」は全国と比べ北海道・東北等では高い傾向にある。
- 「メタボリックリスク保有率」は男女によらず北海道・東北及び沖縄県等では全国と比べ高い傾向にある。
- 「メタボリックリスク予備軍」及び「腹囲リスク保有率」は男女によらず沖縄県等では全国と比べ高い傾向にある。
- 「喫煙者の割合」は男女によらず北海道・東北等では全国と比べ高い傾向にある。

血圧リスク保有率

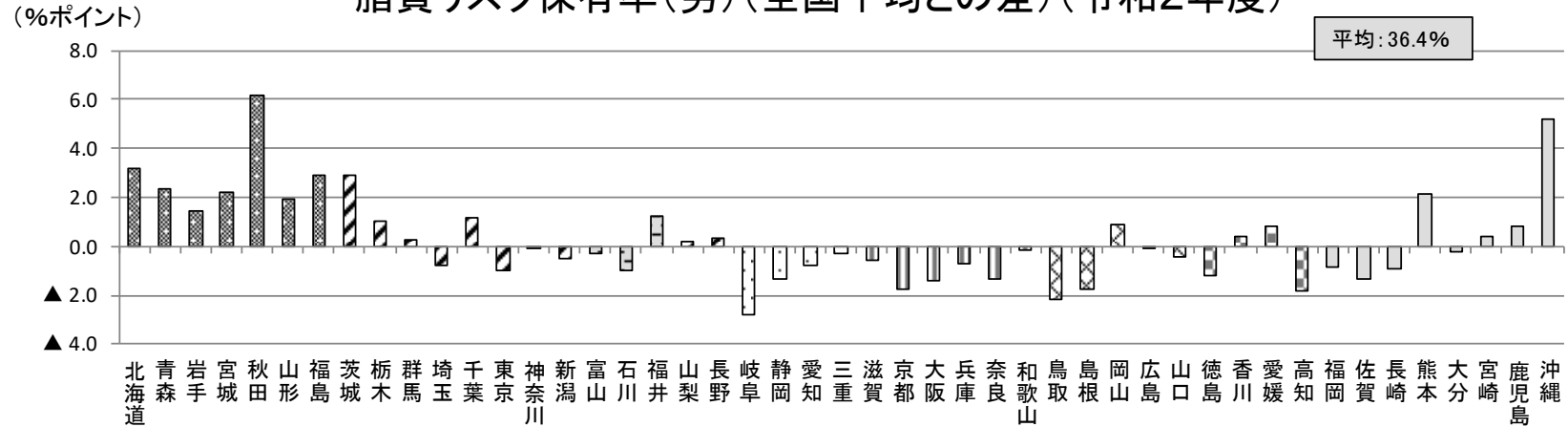
血圧リスク保有率は、男性・女性ともに秋田県、青森県、宮城県の順に高い。



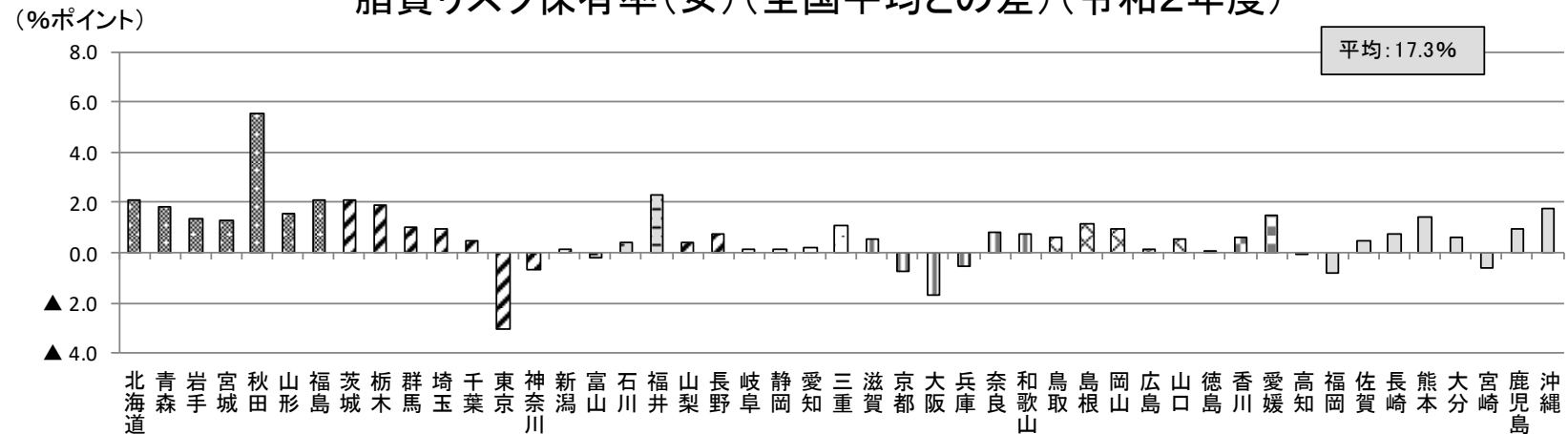
脂質リスク保有率

脂質リスク保有率は、男性で秋田県、沖縄県、北海道の順に高く、女性で秋田県、福井県、北海道の順に高い。

脂質リスク保有率(男)(全国平均との差)(令和2年度)



脂質リスク保有率(女)(全国平均との差)(令和2年度)

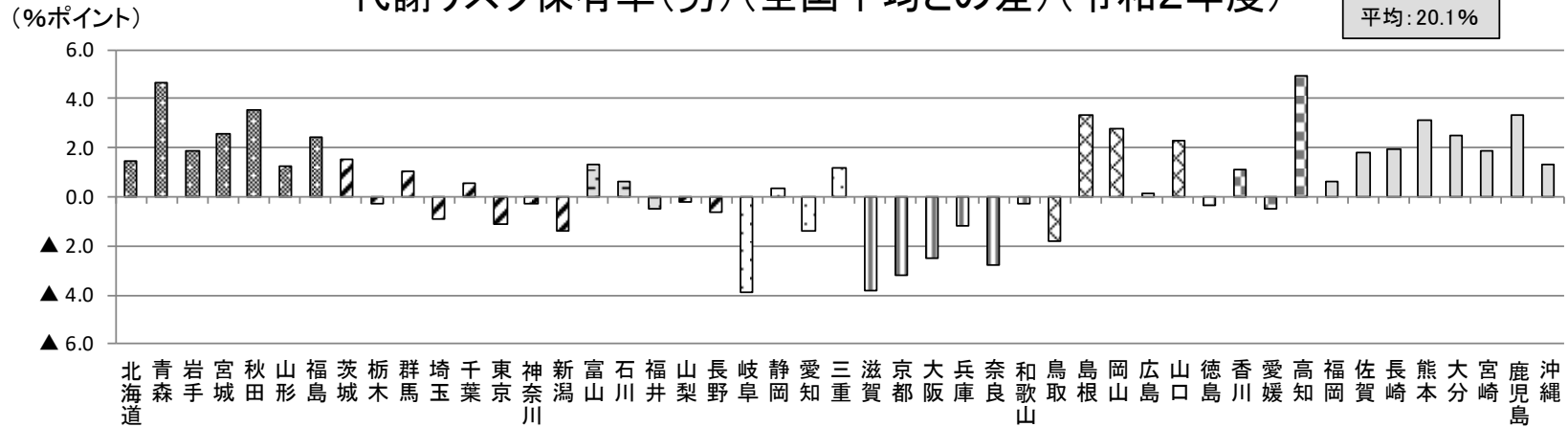


北海道・東北 関東・甲信越 北陸 東海 関西 中国 四国 九州・沖縄

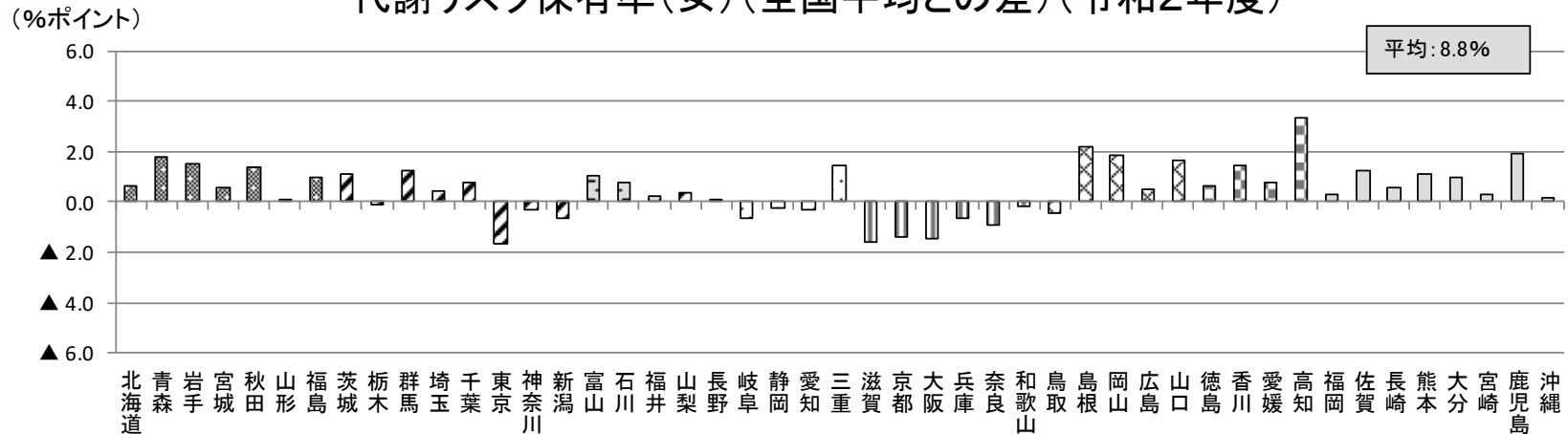
代謝リスク保有率

代謝リスク保有率は、男性で高知県、青森県、秋田県の順に高く、女性で高知県、島根県、鹿児島県の順に高い。

代謝リスク保有率(男)(全国平均との差)(令和2年度)



代謝リスク保有率(女)(全国平均との差)(令和2年度)

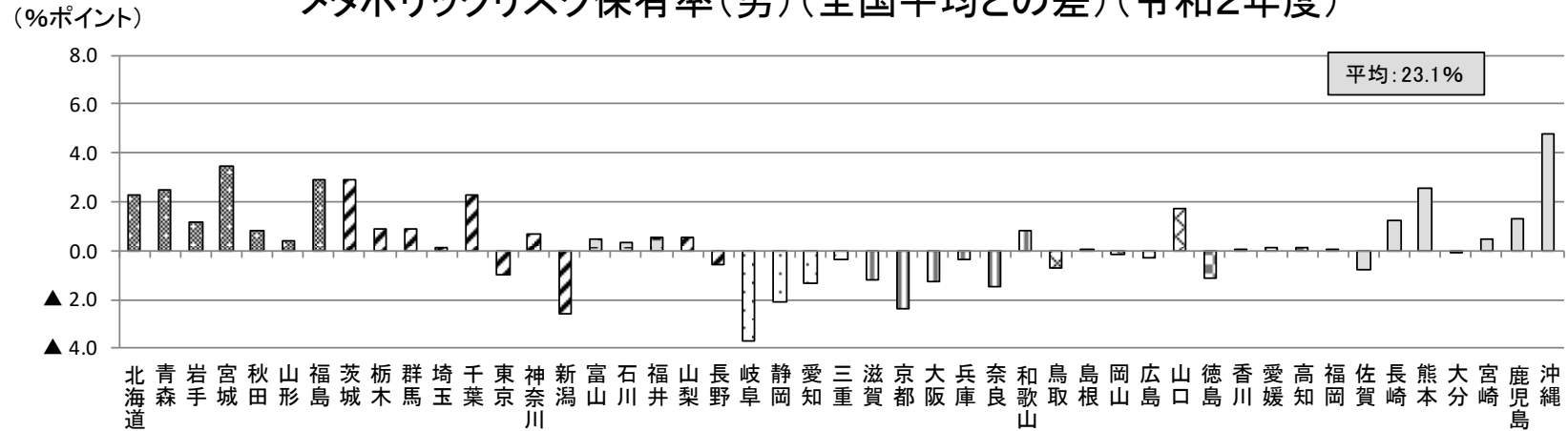


北海道・東北 関東・甲信越 北陸 東海 関西 中国 四国 九州・沖縄

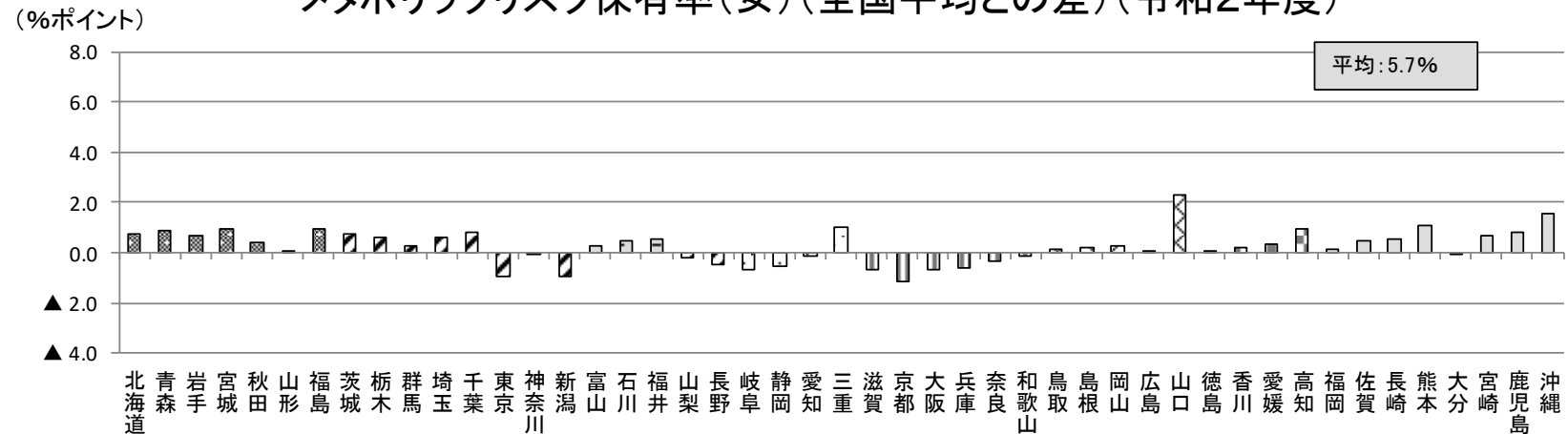
(参考)メタボリックリスク保有率

メタボリックリスク保有率は、男性で沖縄県、宮城県、福島県の順に高く、女性で山口県、沖縄県、熊本県の順に高い。

メタボリックリスク保有率(男)(全国平均との差)(令和2年度)



メタボリックリスク保有率(女)(全国平均との差)(令和2年度)

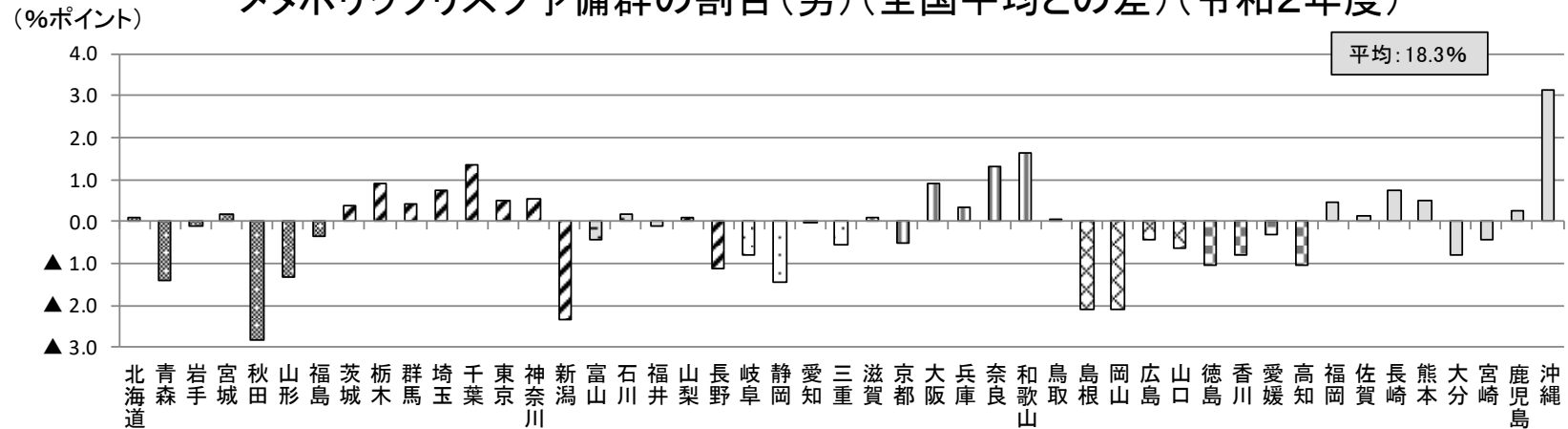


■北海道・東北 ■関東・甲信越 □北陸 □東海 □関西 □中国 □四国 □九州・沖縄

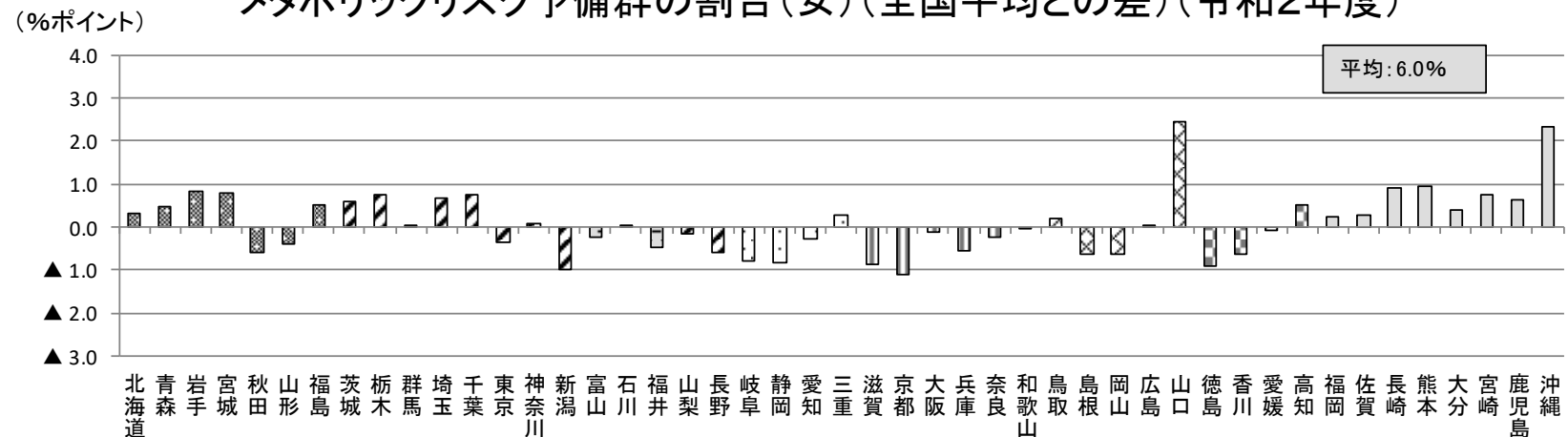
(参考)メタボリックリスク予備群

メタボリックリスク予備群は、男性で沖縄県、和歌山県、千葉県の高く、女性で山口県、沖縄県、熊本県の順に高い。

メタボリックリスク予備群の割合(男)(全国平均との差)(令和2年度)



メタボリックリスク予備群の割合(女)(全国平均との差)(令和2年度)

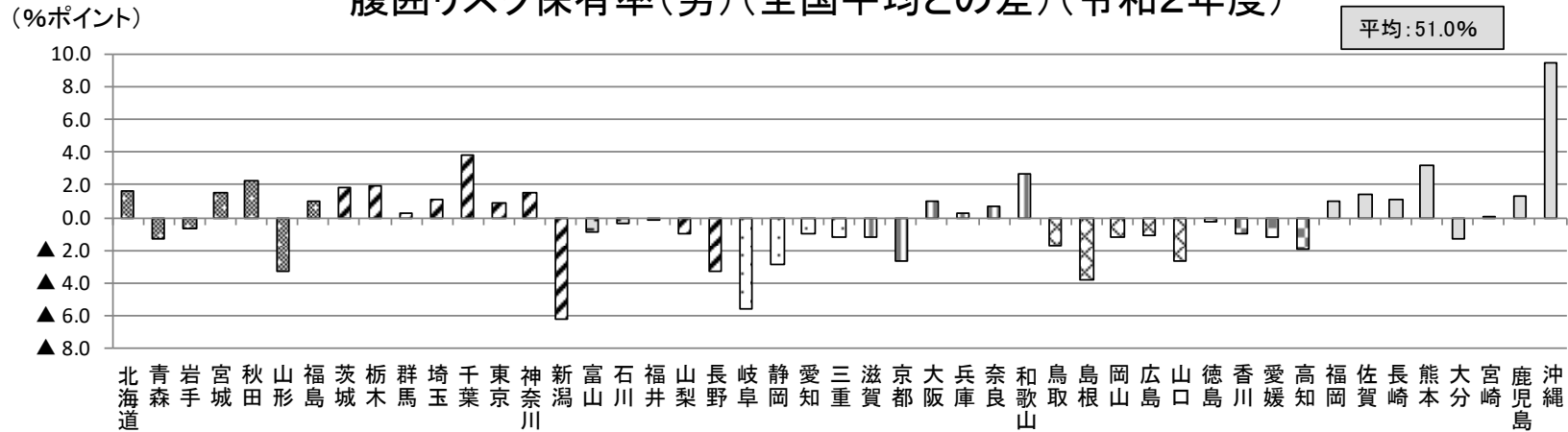


■北海道・東北 ■関東・甲信越 ■北陸 ■東海 ■関西 ■中国 ■四国 ■九州・沖縄

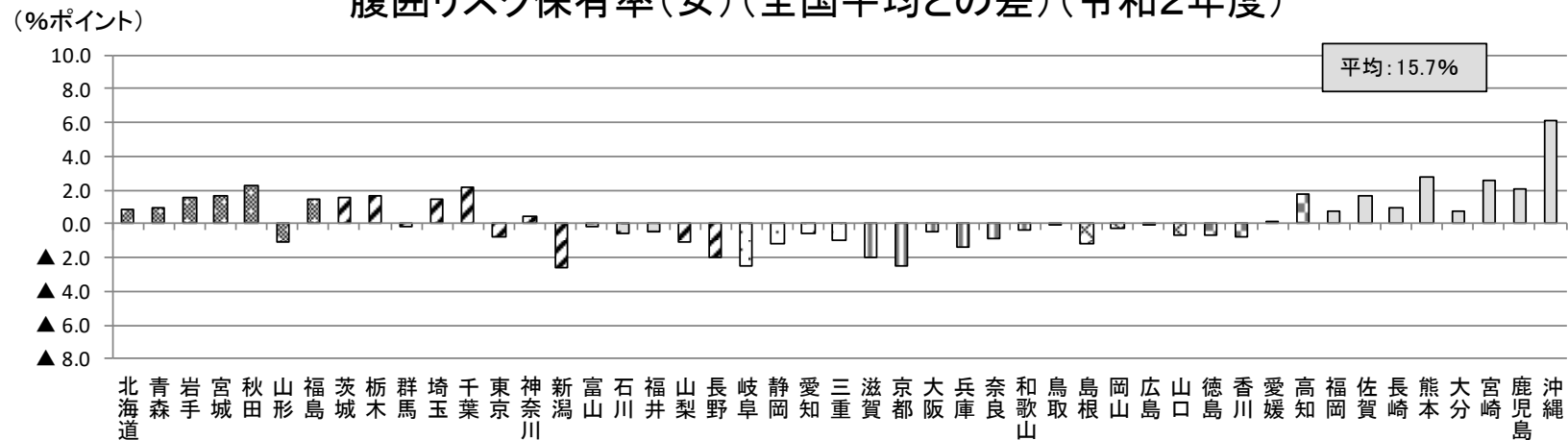
(参考)腹囲リスク保有率

腹囲リスク保有率は、男性で沖縄県、千葉県、熊本県の順に高く、女性で沖縄県、熊本県、宮崎県の順に高い。

腹囲リスク保有率(男)(全国平均との差)(令和2年度)



腹囲リスク保有率(女)(全国平均との差)(令和2年度)

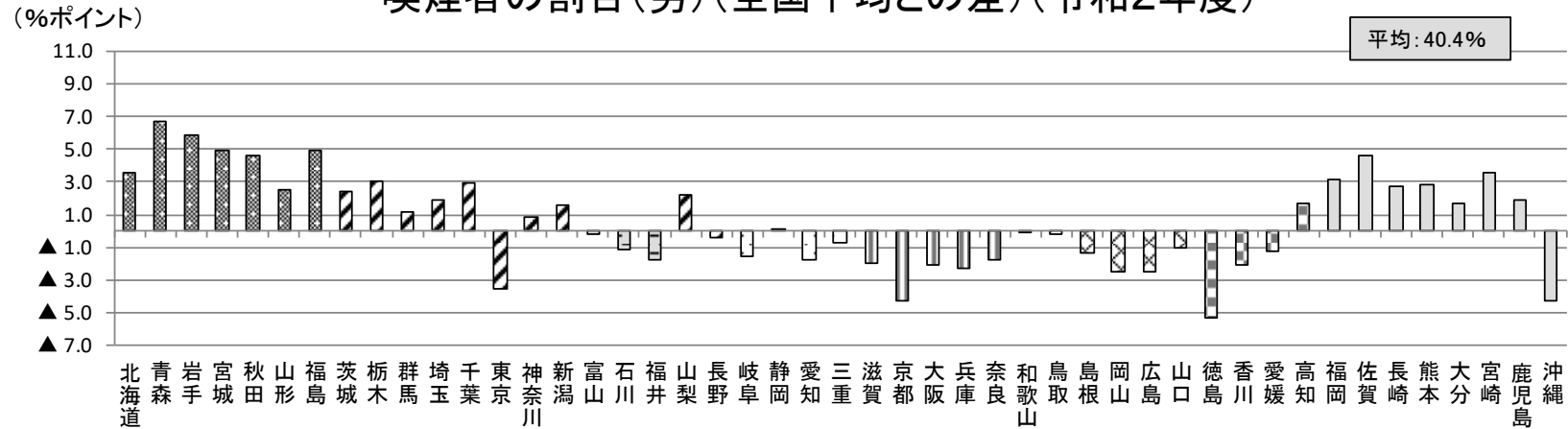


■北海道・東北 ■関東・甲信越 ■北陸 □東海 ■関西 ■中国 ■四国 □九州・沖縄

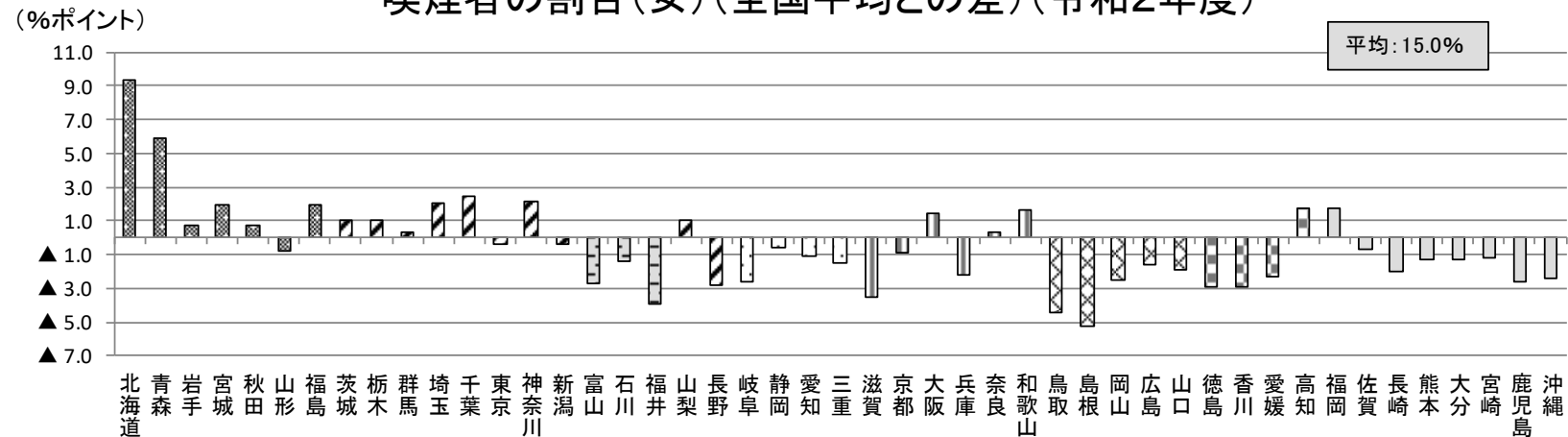
(参考)喫煙者の割合

喫煙者の割合は、男性で青森県、岩手県、宮城県の順に高く、女性で北海道、青森県、千葉県の順に高い。

喫煙者の割合(男)(全国平均との差)(令和2年度)



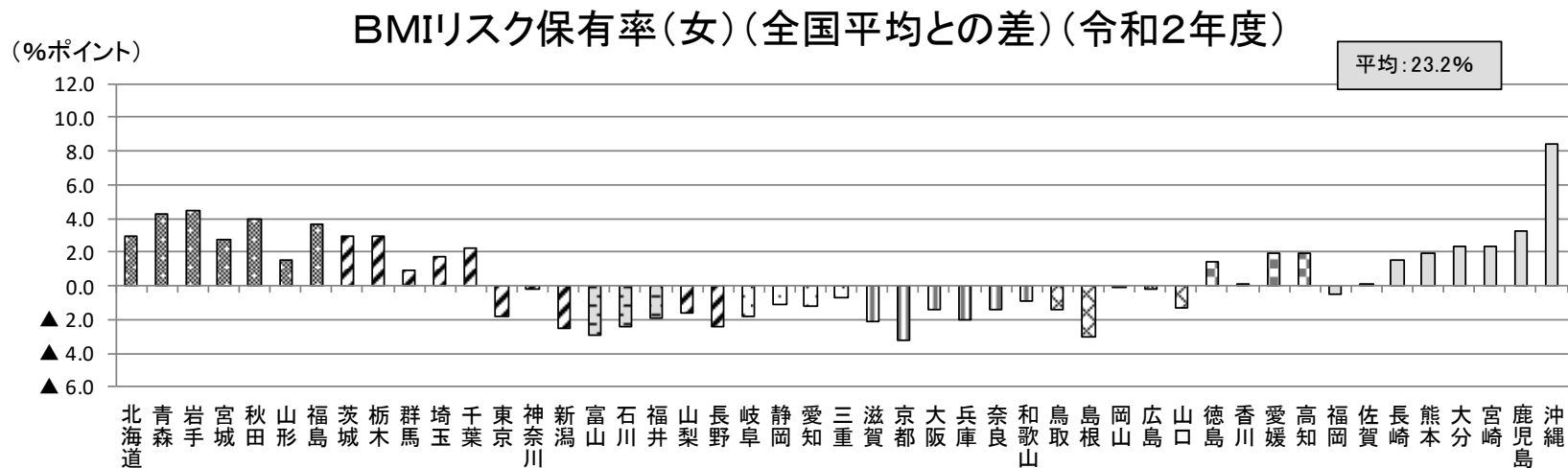
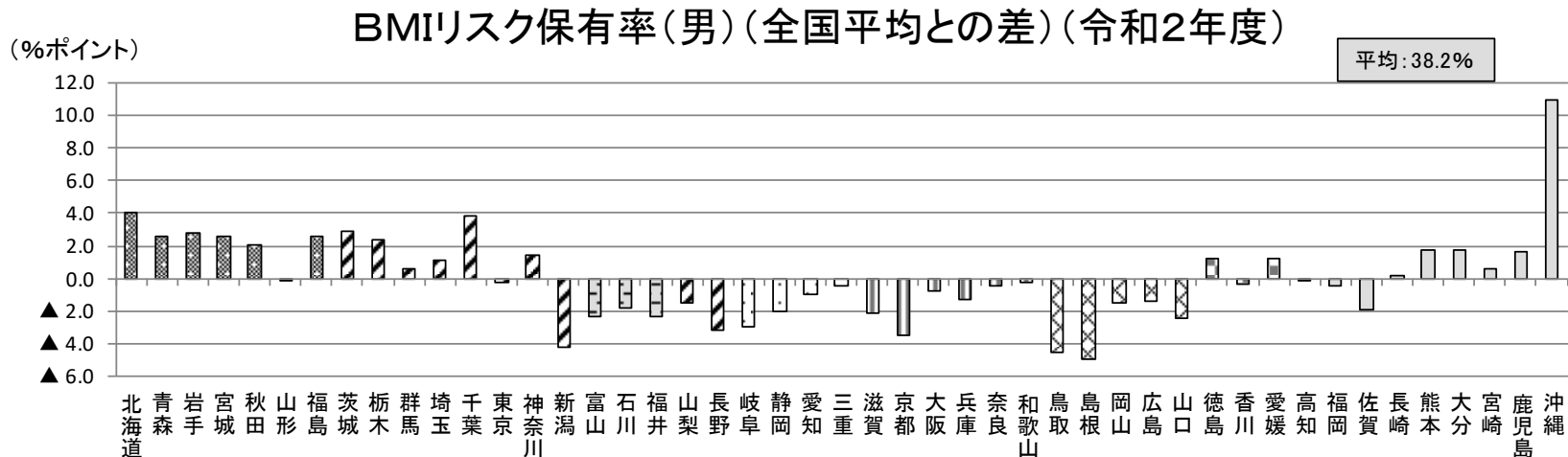
喫煙者の割合(女)(全国平均との差)(令和2年度)



■北海道・東北 ■関東・甲信越 ■北陸 □東海 ■関西 ■中国 ■四国 □九州・沖縄

(参考)BMIリスク保有率

BMIリスク保有率は、男性で沖縄県、北海道、千葉県の高く、女性で沖縄県、岩手県、青森県の高く。

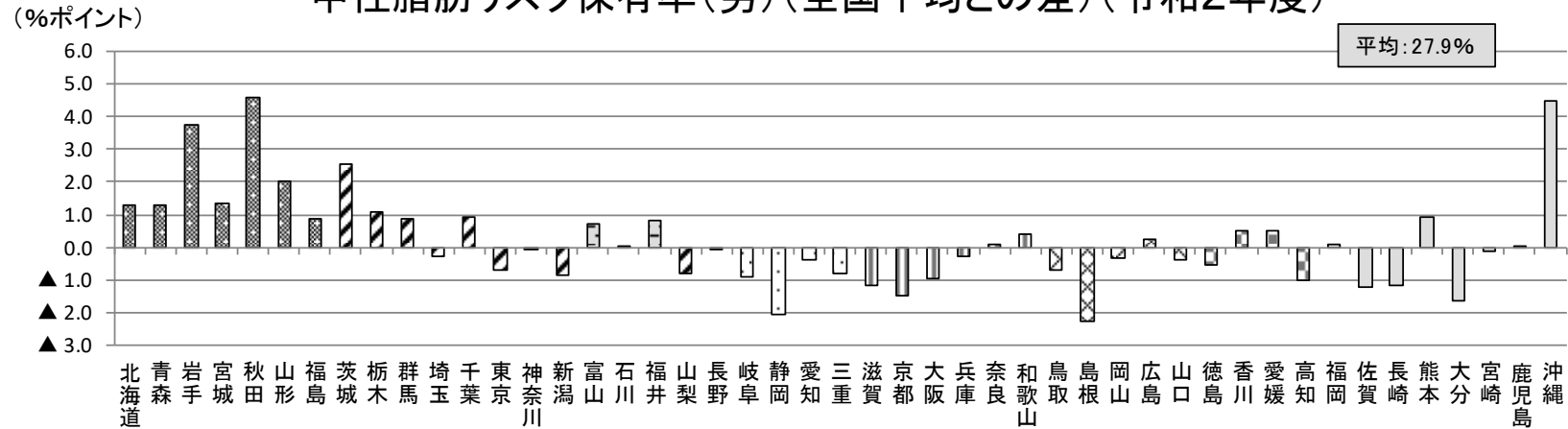


北海道・東北
 関東・甲信越
 北陸
 東海
 関西
 中国
 四国
 九州・沖縄

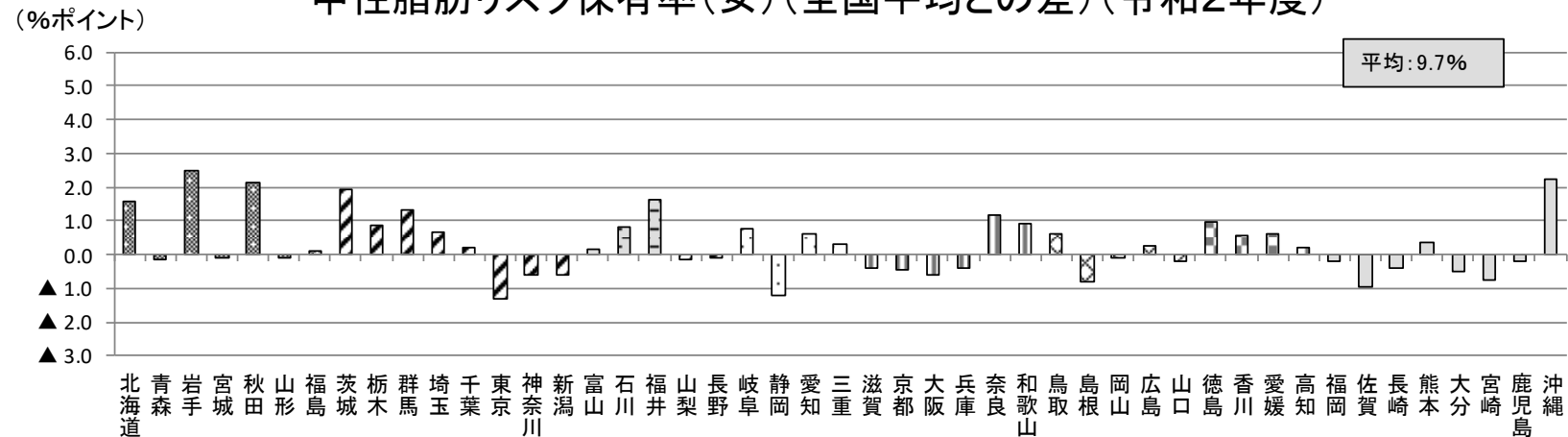
(参考)中性脂肪リスク保有率

中性脂肪リスク保有率は、男性で沖縄県、秋田県、岩手県の順に高く、女性で岩手県、沖縄県、秋田県の順に高い。

中性脂肪リスク保有率(男)(全国平均との差)(令和2年度)



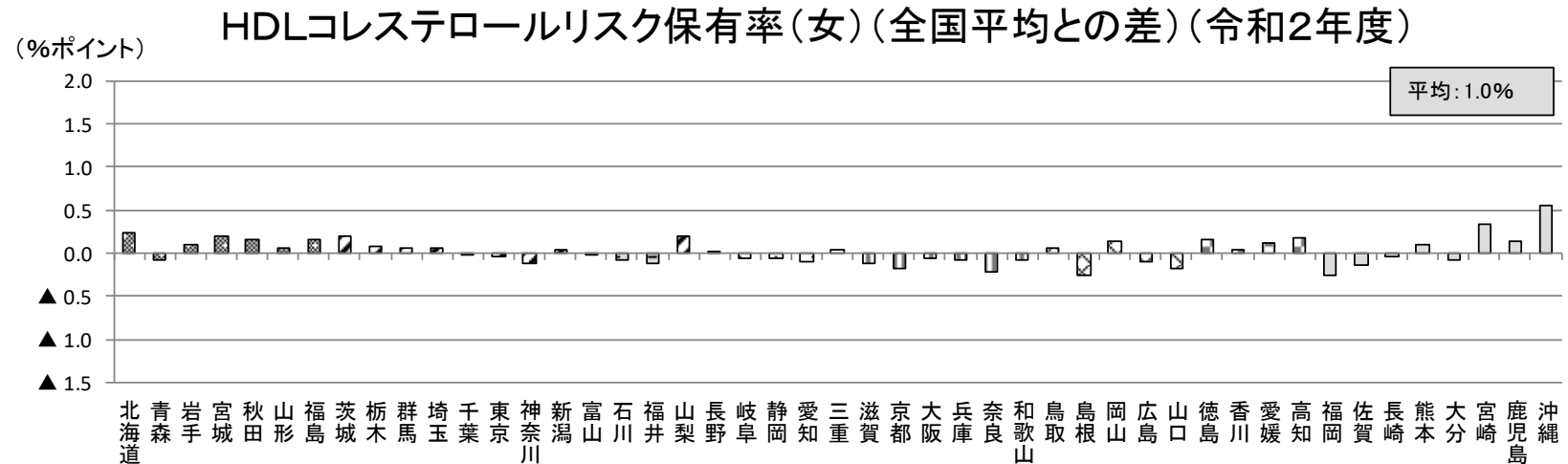
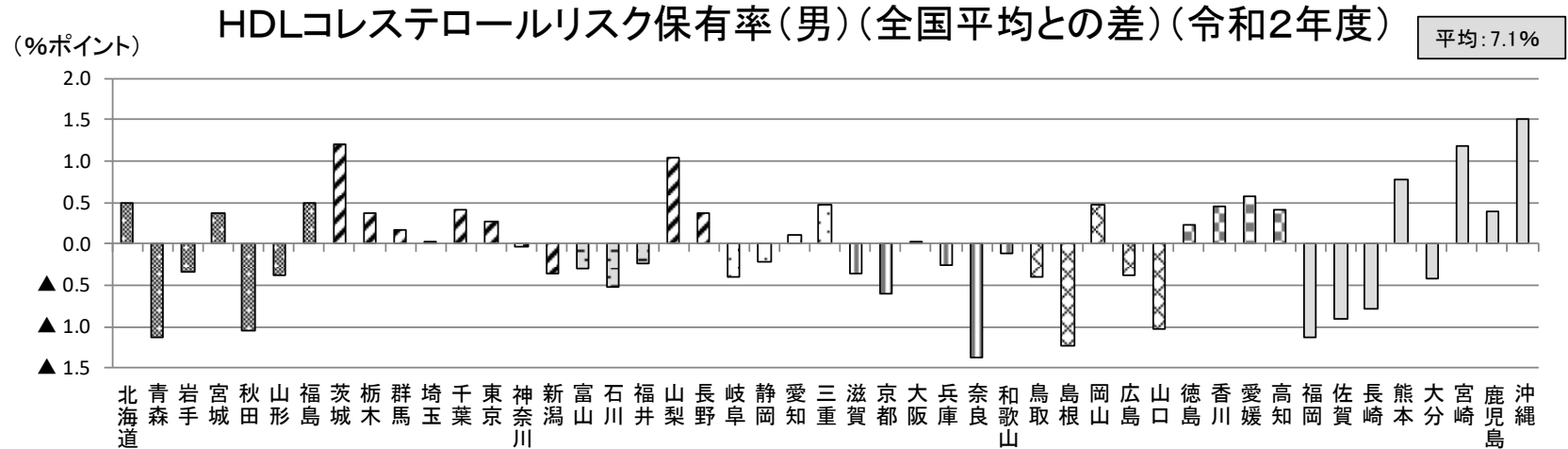
中性脂肪リスク保有率(女)(全国平均との差)(令和2年度)



☒ 北海道・東北
 ☒ 関東・甲信越
 ☒ 北陸
 ☒ 東海
 ☒ 関西
 ☒ 中国
 ☒ 四国
 ☒ 九州・沖縄

(参考)HDLコレステロールリスク保有率

HDLコレステロールリスク保有率は、男性で沖縄県、茨城県、宮崎県の順に高く、女性で沖縄県、宮崎県、宮城県の順に高い。



■北海道・東北 ■関東・甲信越 ■北陸 □東海 ■関西 ■中国 ■四国 □九州・沖縄

【注意事項】

○ 医療費データについて

- ・ 傷病合計の医療費、平均加入者数は、協会けんぽ月報による実績(令和2年4月～令和3年3月)である。
- ・ 傷病別の医療費は、令和2年4月～令和3年3月のレセプト(入院については電子レセプトのみ、入院外については電子レセプト及び電算機で作成されたレセプト(続紙付レセプトを除く))の集計値であり、入院外レセプトと調剤レセプトを接続させている。
- ・ 都道府県別の医療費は、加入者の事業所所在地の都道府県毎に集計したものである。
- ・ 生活習慣病(がんを除く)は、内分泌、栄養及び代謝疾患(糖尿病、その他の内分泌、栄養及び代謝疾患)、循環器系疾患(高血圧性疾患、虚血性心疾患、くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞、脳動脈硬化(症)、その他の脳血管疾患)に該当するものを分類している。
- ・ 医療費の疾病毎の内訳においては、当該疾病を主傷病とするレセプトを集計している。なお、複数の傷病が記載されているレセプトについては、レセプトの主傷病であることを表すフラグがある場合はそれらの傷病から、ない場合は記載されている全ての傷病からレセプトに記載されている順番が最も早い(先頭に記載されている)傷病を主傷病としている。

○ 健診データについて

集計対象データは令和2年度末に35歳以上75歳以下に達し、1年間継続して協会けんぽに加入した被保険者が令和2年度中に受診した生活習慣病予防健診及び事業者健診(一般健診、付加健診)データのうち、特定保健指導レベルが判定不可能でないもの(35～39歳の特定保健指導レベルは40歳以上の階層化の方法に準じて判定)とし、リスク保有者割合等の分母は、特に断りのない場合、当該リスクの判定が可能なデータの総数としている。

- ① メタボリックリスク保有率は、③かつ④～⑥のうち2項目以上に該当する者の割合(分母は集計対象データ総数)
- ② メタボリックリスク予備群の割合は、③かつ④～⑥のうち1項目に該当する者の割合(分母は集計対象データ総数)
- ③ 腹囲のリスク保有率は、内臓脂肪面積が100cm²以上の者(ただし内臓脂肪面積の検査値がない場合は、腹囲が男性で85cm以上、女性で90cm以上の者)の割合
- ④ 血圧のリスク保有率は、収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上、または高血圧に対する薬剤治療ありの者の割合
- ⑤ 脂質のリスク保有率は、中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満、または脂質異常症に対する薬剤治療ありの者の割合
- ⑥ 代謝のリスク保有率は、空腹時血糖110mg/dl以上(ただし空腹時血糖の検査がない場合は、HbA1c 6.0%以上)、または糖尿病に対する薬剤治療ありの者の割合
- ⑦ 喫煙者の割合は問診票において喫煙者であると回答した者の割合
- ⑧ BMIのリスク保有率はBMI(肥満度)が25以上の者の割合
- ⑨ 脂質(中性脂肪)のリスク保有率は中性脂肪150mg/dl以上の者の割合
- ⑩ 脂質(HDLコレステロール)のリスク保有率はHDLコレステロール40mg/dl未満の者の割合

○ その他

- ・ 相関係数 r は、2つのデータがどの程度相関(1つのデータの変化に伴ってもう一方のデータも変化すること)しているかを示す指標。
- ・ データの各数値は速報値である。